

令和5年
岡山市子どもの生活実態調査
報告書

令和6年6月

岡山市

目次

1. 調査の概要	1
1.1. 調査実施方法等の概要	2
1.1.1. 調査の目的	2
1.1.2. 調査の仕様	2
(1) 調査対象者、標本数	2
(2) 調査方法、調査期間、有効回収数・回収率	2
(3) 調査委託機関	3
(4) アドバイザーへの意見聴取	3
(5) 本報告書を読む際の留意点	3
1.1.3. 調査の設問	4
1.2. 調査回答者の基本属性等	5
1.2.1. 保護者	5
(1) 子どもとの続柄	5
(2) 同居家族の人数	5
(3) 両親の年齢	6
(4) 同居家族に含まれる方	6
(5) 婚姻の状況	7
(6) 最終学歴（卒業した学校）	7
1.2.2. 子ども	8
(1) 学年	8
(2) 同居家族	8
2. 分析結果	9
2.1. 保護者の生活状況	10
2.1.1. 経済的な状況、暮らしの状況	10
(1) 世帯全体の年間収入	10
(2) 暮らしの状況についての認識	12
(3) 食料が買えなかった経験	13
(4) 衣服が買えなかった経験	14
(5) 公共料金における未払いの経験	15
(6) 物価高騰の影響を受けた心配や不安	18
(7) 養育費の取り決めの有無	23
2.1.2. 就労の状況	24
(1) 母親・父親の就労状況	24
(2) 働いていない理由	26
2.1.3. 保育の状況	28
(1) 子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等	28
(2) 子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等	29
2.1.4. 子どもとの関わり方	30

(1) テレビ等のルールについて.....	30
(2) 本や新聞を読むことについて.....	31
(3) 生活のルールについて.....	32
(4) 勉強や成績のことについて.....	33
(5) 絵本の読み聞かせについて.....	34
(6) 子どもをたたいたことについて.....	35
(7) 子どもを怒鳴ったことについて.....	36
(8) 子どもが食事をとる相手.....	37
(9) 子どものために持っているもの.....	39
(10) 子どものためにしていること.....	45
2.1.5. 学校との関わり・参加.....	50
(1) 学校行事への参加.....	50
(2) PTA 活動等への参加.....	51
2.1.6. 進学期待・展望.....	52
(1) 子どもの進学段階に関する希望・展望.....	52
(2) 進学段階に関する希望・展望についてそう考える理由.....	54
2.1.7. 頼れる人の有無・相手.....	55
(1) 子育てに関する相談.....	55
(2) 重要な事柄の相談.....	57
(3) いざという時のお金の援助.....	59
2.1.8. 保護者の心理的な状態.....	61
(1) 保護者の心理的な状態.....	61
(2) 生活満足度.....	63
2.1.9. 子どもや自分の毎日の生活のことで感じていることや悩み.....	64
2.2. 子どもの生活状況、「貧困の連鎖」リスクの発生状況.....	65
2.2.1. 学習の状況.....	65
(1) ふだんの勉強の仕方.....	65
(2) 1 日あたりの勉強時間.....	67
(3) 授業の理解状況.....	69
(4) 授業がわからなくなった時期.....	70
2.2.2. 進学希望.....	72
(1) 進学したいと思う教育段階.....	72
(2) 保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況.....	74
(3) 進学希望の教育段階についてそう考える理由.....	75
2.2.3. 部活動等への参加状況.....	76
(1) 部活動等への参加状況.....	76
(2) 部活動等に参加していない理由.....	79
(3) 条件がととのったらやってみいたいこと.....	84
2.2.4. 日常的な生活の状況.....	87
(1) 食事の状況.....	87

(2) 食べない理由.....	89
(3) 下校してから午後6時ごろまでの過ごし方.....	93
(4) 文化活動や自然体験.....	97
(5) 相談できると思う相手.....	100
(6) 生活満足度.....	102
2.2.5. 子どもの心理的な状態.....	103
(1) 情緒の問題.....	103
(2) 仲間関係の問題.....	104
(3) 向社会性.....	105
(4) 自己肯定感.....	106
(5) まわりの大人との関係.....	109
(6) 保護者の状況と逆境体験.....	112
2.2.6. 将来の夢や目標.....	114
(1) 将来の夢や目標.....	114
(2) 夢や目標をかなえるためにがんばりたいと思うか.....	115
2.2.7. 毎日の生活で感じていることや悩んでいること.....	116
2.3. ヤングケアラーについて.....	117
2.3.1. 保護者の状況.....	117
(1) 子どもが家族の世話をすること.....	117
(2) 子どもが家族の世話をすることについて思うこと.....	119
(3) ヤングケアラーという言葉の認知度.....	121
2.3.2. 子どもの状況.....	122
(1) 家族の世話をすること.....	122
(2) 家族の世話をすることについて思うこと.....	124
(3) ヤングケアラーという言葉の認知度.....	125
2.3.3. 保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況.....	126
(1) 家族の世話をすること.....	126
(2) 家族の世話をすることについて思うこと.....	127
(3) ヤングケアラーという言葉の認知度.....	128
2.4. 支援の利用状況や効果等.....	129
2.4.1. 保護者の状況.....	129
(1) 支援制度の利用状況.....	129
(2) 支援制度を利用していない理由.....	131
(3) 自宅以外の子どもの居場所.....	133
(4) 子どもの様々な生活の世話をしてもらえる居場所について.....	135
(5) 子育てで必要だと感じている支援等.....	137
2.4.2. 子どもの状況.....	139
(1) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所.....	139
(2) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所.....	141
(3) 勉強を無料でみてくれる場所.....	143

(4) 何でも相談できる場所.....	144
(5) 支援制度・居場所等の利用による変化.....	145
3. 参考資料.....	147
3.1.収入の水準に関する資料（等価世帯収入の算出）	148

1. 調査の概要

1.1.調査実施方法等の概要

1.1.1.調査の目的

子どもの将来が、貧困などその生まれ育った環境に左右されることのないよう、また、困難が世代を超えて連鎖することがないように必要な環境整備を図るための基礎資料とし、令和6年度に策定する子どもの貧困対策を推進するための新たな計画に反映できるよう調査項目を作成し、調査・分析を実施した。

この調査では、岡山市の小学5年生・中学2年生およびその保護者に対し、現在の生活・経済状態、将来の貧困に影響を与える可能性のある事項、子どもの貧困対策に関連する施策の利用状況、ヤングケアラーに関する認識等について把握するための項目を設けた。

本報告書は、「令和5年岡山市子どもの生活実態調査」の調査結果について、子どもおよびその保護者の回答をセットとして集計・分析を行ったものである。集計・分析は、下記のA～Dの観点を踏まえて実施した。

- A 子どもと保護者の生活・行動実態を明らかにし、課題等の把握を行う
- B 子どもと保護者の生活・行動実態に関して、現在の貧困等との関連性を把握し、「貧困の連鎖」等のリスクの状況を明らかにする
- C ヤングケアラーという言葉の認識、子どもによる家族の世話の状況を把握する
- D 子どもの貧困対策に関連する施策の利用状況や効果等を明らかにする

1.1.2.調査の仕様

(1) 調査対象者、標本数

- ①調査地域：岡山市全域
- ②標本数：5,000世帯
 - 小学校5年生とその保護者 2,500世帯
 - 中学校2年生とその保護者 2,500世帯
- ③抽出方法：住民基本台帳をもとに市全域から層化二段無作為抽出

(2) 調査方法、調査期間、有効回収数・回収率

調査票は調査対象に郵送し、回答方法は調査票に同封する返信用封筒にて返信する方法、もしくは調査依頼時に明示するオンライン調査システムへリンクされたURLから回答する方法のいずれかを、回答者が選ぶことができるようにした。

調査期間は令和5年11月17日(金)～12月13日(水)¹として実施し、有効回収数は2,042件(組)、回収率は40.8%であった。

¹ 調査期間は当初令和5年12月7日(木)までであったが、延長した

表 1-1-2-1 調査実施方法等の概要

調査地域	岡山市
調査対象者	小学校 5 年生とその保護者 2,500 世帯 中学校 2 年生とその保護者 2,500 世帯
標本数	5,000 組
調査方法	郵送配付-郵送回収またはオンライン回答
調査期間	令和 5 年 11 月 17 日（金）～12 月 13 日（水）
サンプリング方法	層化二段無作為抽出法
有効回収数、回収率	2,042 件（組）、40.8%

（3）調査委託機関

株式会社東京商工リサーチ

（4）アドバイザーへの意見聴取

本報告書の作成にあたっては、子どもの貧困に関する広い知見を持つ有識者および実務経験者へ意見聴取を行い、調査項目、分析方法等に関する助言を得た。

表 1-1-2-2 「子どもの生活実態調査アドバイザー一覧」（50 音順、敬称略）

氏名	所属・役職（検討会開催当時）
直島 克樹	川崎医療福祉大学医療福祉学部講師、平成 30 年岡山県こどもの未来応援ネットワーク会議委員、岡山県子ども食堂ネットワーク代表
西村 こころ	KOTOMO 基金事務局、NPO 法人岡山 NPO センター「参画推進センター」所長
八重樫 牧子	福山市立大学名誉教授、川崎医療福祉大学大学院非常勤講師、新見公立大学非常勤講師

（5）本報告書を読む際の留意点

- 設問文の末尾に（あてはまるもの 1 つに○）と示した設問は単一回答形式（SA : Single Answer）、（あてはまるものすべてに○）と示した設問は複数回答形式（MA : Multiple Answer）を示している。
- 図表内の「n=○○」はその設問についての有効回答者数（集計対象件数）を示している。
- 原則として、単純集計は「不明・無回答」を含んで集計し、クロス集計は「不明・無回答」は除いて集計を行っている。
- 回答の比率（%）は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、単一回答の設問の各選択肢の回答に関する数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
- 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基礎として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると、100.0%を超える場合がある。
- 回答が 5 未満のものに関しては参考値とし、原則コメントは省略している。

1.1.3.調査の設問

調査項目は、「令和 3 年子供の生活状況調査の分析」（内閣府）（以下、国の調査という）の調査項目をベースに、「岡山県子どもの生活実態調査（平成 29 年）」（以下、県の調査という）を参考にして、市独自の調査項目を追加している。なお、実際の調査票は、参考資料として掲載する。

表 1-1-3-1 質問項目一覧

保護者票

1	回答者の続柄
2	家族形態
3	世帯人数、子どもの人数
4	親の年齢
5	親の婚姻状況
6	ひとり親の養育費受取状況
7	幼児期の教育（0～2歳）
7	幼児期の教育（3～5歳）
8	親の学歴
9	親の就労状況
10	就労していない理由
11	保護者の関わり方
12	学校行事への参加
13	子どもは誰と食事をしているか
14	子どものための所持品
15	子どものための体験活動
16	進学への期待・展望
17	想定する進学先の理由
18	放課後の子どもの居場所
19	子育て支援の認知と参加希望
20	子育てに必要な支援
21	ヤングケアラーについて
22	保護者の頼れる相手
23	暮らし向き（主観）
24	世帯収入
25	滞納・欠乏経験
26	物価高騰の影響
27	精神状態
28	支援制度の利用状況
29	主観的幸福（生活満足度）
30	自由回答

子ども票

1	学年
2	同居家族
3	ふだんの勉強の仕方
4	学習習慣
5	授業の理解度
6	授業についていけなくなった時期
7	進学希望
8	想定する進学先の理由
9	放課後の過ごし方
10	部活動等の状況
11	部活動等を行わない理由
12	経験したい習い事
13	食事の頻度
14	食べない理由
15	文化活動や自然体験の頻度
16	家族の世話の状況
17	ヤングケアラーという言葉の認知
18	信頼できる大人・友人
19	主観的幸福（生活満足度）
20	精神状態
21	自己肯定感
22	周囲の大人との関係
23	逆境経験
24	支援の利用状況
25	支援の効果
26	将来の夢や目標
27	夢や目標をかなえる意欲
28	自由回答

1.2.調査回答者の基本属性等

1.2.1.保護者

(1) 子どもとの続柄

保護者票問1. お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄(つづきがら)でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

調査回答者の、子どもからみた続柄別の割合は、「母親」が 85.6%、「父親」が 13.9%、「祖父母」が 0.2%となっている。

表 1-2-1-1 子どもとの続柄

(上段：件数、下段：%)

全 体	母親	父親	祖父母	その他	不明・無回答
2,042	1,747	283	5	1	6
100.0	85.6	13.9	0.2	0.0	0.3

(2) 同居家族の人数

保護者票問3. ご家族の人数とそのうちお子さんの人数をお答えください。

子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数別の割合は、「4人」が 47.5%、「5人」が 26.3%、「3人」が 14.4%となっている。

表 1-2-1-2 同居家族の人数

(上段：件数、下段：%)

全 体	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	不明・無回答
2,042	0	40	294	969	537	134	52	16	0
100.0	0.0	2.0	14.4	47.5	26.3	6.6	2.5	0.8	0.0

(3) 両親の年齢

保護者票問4. お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。

(母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「-」と記入)

子どもの母親の年齢別の割合は、「40代」が67.4%、「30代」が18.2%、「50代」が13.2%となっている。

子どもの父親の年齢別の割合は、「40代」が58.4%、「50代」が21.2%、「30代」が11.0%となっている。

表 1-2-1-3 現在の年齢 (母・父)

(上段：件数、下段：%)

	全 体	20歳 未満	20代	30代	40代	50代	60代 以上	不明・ 無回答
a.母親	2,042 100.0	0 0.0	5 0.2	372 18.2	1,376 67.4	270 13.2	1 0.0	18 0.9
b.父親	2,042 100.0	0 0.0	2 0.1	225 11.0	1,193 58.4	432 21.2	29 1.4	161 7.9

(4) 同居家族に含まれる方

保護者票問2. お子さんと生計を同一にしているご家族の家族形態について教えてください。

(あてはまるもの1つに○)

子どもと同居し、生計を同一にしている家族の形態別の割合については、「核家族 (父母+子ども)」が81.2%、「三世代家族 (父母+子ども+祖父母)」が8.5%、「ひとり親家族 (ひとり親+子ども)」が7.3%となっている。

本報告書では、「ひとり親家族 (ひとり親+子ども)」世帯と「ひとり親三世代家族 (ひとり親+子ども+祖父母)」世帯に加え、「その他」の世帯のうち世帯状況についての記載内容からひとり親と判断できる世帯を「ひとり親世帯」とした。

表 1-2-1-4 同居家族に含まれる方

(上段：件数、下段：%)

全 体	核家族 (父 母+子ども)	三世代家族 (父母+子ど も+祖父母)	ひとり親家族 (ひとり親+ 子ども)	ひとり親三世 代家族 (ひと り親+子ども+ 祖父母)	その他 ^(※)	不明・無回答
2,042	1,658	174	150	39	21	0
100.0	81.2	8.5	7.3	1.9	1.0	0.0

(※) 「その他」に属する世帯のうち、自由記載の記載内容から9世帯を「ひとり親世帯」とした。

(5) 婚姻の状況

保護者票問5. お子さんと生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

(あてはまるもの1つに○)

子どもの親の婚姻状況別の割合は、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が90.5%、「離婚」が7.8%、「死別」が0.8%、「未婚」が0.5%となっている。「離婚」、「死別」、「未婚」は合わせて9.1%である。

表 1-2-1-5 婚姻の状況

(上段：件数、下段：%)

全 体	結婚している (再婚や 事実婚を含 む。)	離婚	死別	未婚	わからない	いない	不明・ 無回答
2,042	1,848	160	16	11	1	0	6
100.0	90.5	7.8	0.8	0.5	0.0	0.0	0.3

(6) 最終学歴 (卒業した学校)

保護者票問8. お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

(a.母親,b.父親、それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

子どもの親の最終学歴 (卒業した学校) の割合は、「母親」については、「大学またはそれ以上」が60.3%、「高校まで」が36.6%、「中学まで」が2.0%となっている。「父親」については、「大学またはそれ以上」が56.3%、「高校まで」が34.3%、「中学まで」が3.6%となっている。

表 1-2-1-6 母親・父親の最終学歴 (卒業した学校)

(上段：件数、下段：%)

	全 体	中学まで	高校まで	大学 または それ以上	その他	わからない	いない	不明・ 無回答
a.母親	2,042	41	749	1,232	5	2	2	11
	100.0	2.0	36.6	60.3	0.2	0.1	0.1	0.5
b.父親	2,042	73	701	1,148	4	4	37	75
	100.0	3.6	34.3	56.3	0.2	0.2	1.8	3.7

1.2.2.子ども

(1) 学年

子ども票問1. あなたの学年を教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

調査回答者の、子どもの学年別の割合は、「小学校5年生」が51.7%、「中学校2年生」が48.3%となっている。

表 1-2-2-1 学年

(上段：件数、下段：%)

全 体	小学校5年生	中学校2年生	不明・無回答
2,042	1,055	987	0
100.0	51.7	48.3	0.0

(2) 同居家族

子ども票問2. あなたが、今、一緒に住んでいる人をすべて教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

調査回答者の子どもが同居している家族について、「お母さん」と同居している割合は98.7%、「お父さん」は88.5%、「きょうだい」は82.7%となっている。

表 1-2-2-2 同居家族

※複数回答であるため、合計が100%にならない。(上段：件数、下段：%)

全 体	お父さん	お母さん	きょうだい	おじいさん	おばあさん	おじさん、 おばさんな どの親戚	その他の 人	不明・無 回答
2,042	1,808	2,015	1,688	147	252	26	16	2
100.0	88.5	98.7	82.7	7.2	12.3	1.3	0.8	0.1

2. 分析結果

2.1.保護者の生活状況

2.1.1.経済的な状況、暮らしの状況

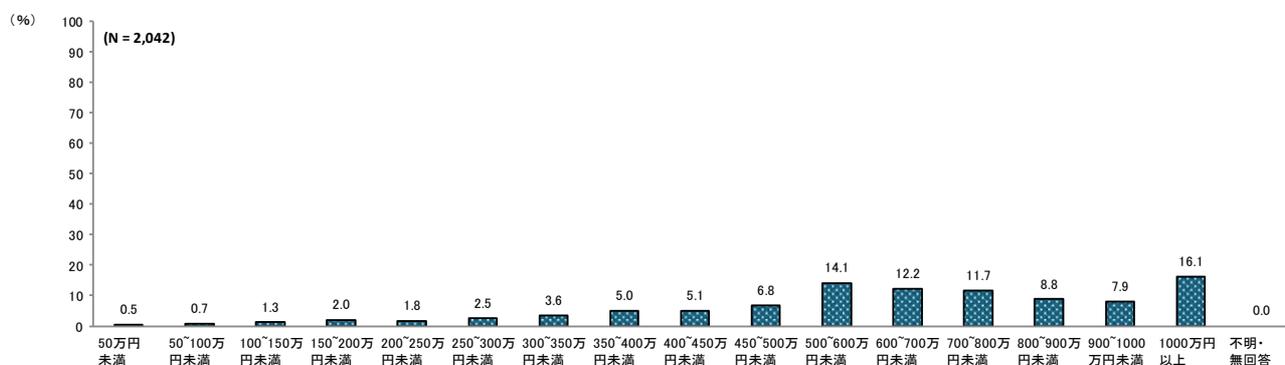
(1) 世帯全体の年間収入

保護者票問 2 4. 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。

(あてはまるもの 1 つに○)

令和 4 年の世帯全体のおおよその年間収入(税込)については、「1,000 万円以上」の割合が 16.1%で最も割合が高く²、次いで、「500～600 万円未満」の割合が 14.1%、「600～700 万円未満」の割合が 12.2%、「700～800 万円未満」の割合が 11.7%となっている。

図 2-1-1-1 世帯全員の年間収入



収入が 1,000 万円以上の世帯の割合が 16.1%と高くなっている一方で、「300 万円未満」の世帯の割合も 8.8%となっている。

本報告書においては、世帯の年間収入の水準について、「子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数」(表 1-3-1-2 参照) の情報も踏まえて下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行った。³

- 年間収入に関する回答の各選択肢の中間の値をその世帯の収入の値とする(例えば、「50 万円未満」であれば 25 万円、「50～100 万円未満」であれば 75 万円とする。なお、「1,000 万円以上」は 1,050 万円とする。)
- 上記の値を、保護者票問 3 で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。
- 上記の方法で算出した値(等価世帯収入)の中央値を求め、さらに、その 2 分の 1 未満であるか否かで分類する。

分類の結果、等価世帯収入の水準が「中央値の 2 分の 1 未満」に該当するのは 10.6%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満(以下、「中央値未満」と記載)」に該当するのは 38.5%、「中央値以上」に該当するのは 50.9%となった。

² 選択肢から選択する形式の調査項目であり、「令和 3 年子供の生活状況調査の分析」(内閣府)では、最も額が高い選択肢の設定が「1,000 万円以上」であった。

³ 分類の方法、分布の詳細等は参考資料「3.1.収入の水準に関する資料(等価世帯収入の算出)」参照。

本報告書では、特に「中央値の2分の1未満」に該当する世帯を、「貧困」の課題を抱えている世帯であると考え、集計・分析を行った。また、「中央値未満」に該当する世帯も「貧困」の課題を抱えるリスクが高い世帯であると考え、回答傾向の把握を行った。

世帯状況別に等価世帯収入の水準をみると⁴、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する割合は、「ひとり親世帯」では54.0%となっており、「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。「中央値の2分の1未満」に該当する割合は、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では、56.8%となっている。

母親・父親いずれの場合も学歴が大学またはそれ以上の場合、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する割合は、他の学歴の場合より低くなっている。学歴が高校までの場合は、等価世帯収入の水準が「中央値未満」と「中央値の2分の1未満」に該当する割合が高くなっている。

図 2-1-1-2 等価世帯収入の水準

(件、%)

全 体	中央値の2分の1未満	中央値未満	中央値以上
2,042	10.6	38.5	50.9

図 2-1-1-3 【世帯状況別】等価世帯収入の水準

(件、%)

		全 体	中央値の2分の1未満	中央値未満	中央値以上
全 体		2,042	10.6	38.5	50.9
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,841	5.9	38.7	55.4
	【ひとり親世帯】	198	54.0	36.4	9.6
	母子世帯のみ	183	56.8	34.4	8.7

図 2-1-1-4 【母親の学歴の状況別】等価世帯収入の水準

(件、%)

		全 体	中学	中学、高校	中学、高校、専門学校	中学、5年制の高等専門学校	中学、高校、短大	中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	その他	わからない	いない
全 体		2,031	2.0	18.1	18.2	0.5	20.3	33.3	7.0	0.2	0.1	0.1
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	214	10.3	30.4	18.2	0.5	23.8	14.0	1.9	0.9	0.0	0.0
	中央値未満	782	1.0	23.0	22.0	0.3	21.0	27.7	4.5	0.3	0.1	0.1
	中央値以上	1,035	1.1	11.9	15.4	0.8	19.1	41.4	10.0	0.1	0.1	0.1

図 2-1-1-5 父親の学歴の状況別、等価世帯収入の水準

(件、%)

		全 体	中学	中学、高校	中学、高校、専門学校	中学、5年制の高等専門学校	中学、高校、短大	中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	その他	わからない	いない
全 体		1,967	3.7	23.4	11.6	0.6	3.4	41.9	13.1	0.2	0.2	1.9
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	171	13.5	28.7	11.7	0.0	4.1	23.4	2.9	0.0	1.2	14.6
	中央値未満	759	4.0	31.6	15.8	0.3	3.7	37.0	5.9	0.4	0.0	1.3
	中央値以上	1,037	1.9	16.6	8.6	0.9	3.1	48.5	20.0	0.1	0.2	0.2

⁴ 本報告書では、「世帯の状況別」として、ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか別に集計し、結果を比較した。また、ひとり親世帯のうち、母子世帯に限った集計を行い、その結果も示した。

(2) 暮らしの状況についての認識

保護者票問 2 3. あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

(あてはまるもの1つに○)

現在の暮らしの状況をどのように感じているかについては、「大変ゆとりがある」の割合が 2.8%、「ゆとりがある」の割合が 13.0%、「ふつう」の割合が 53.6%となっており、合わせて 69.4%となっている。他方で、「苦しい」の割合は 24.4%、「大変苦しい」の割合は 5.9%となっており、合わせた割合は 30.3%となっている。

「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では 73.3%、「中央値未満」の世帯では 39.8%、「中央値以上」の世帯では 14.3%となっている。

世帯状況別にみると、「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 27.1%、「ひとり親世帯」では 60.6%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 61.2%となっている。

図 2-1-1-6 暮らしの状況についての認識

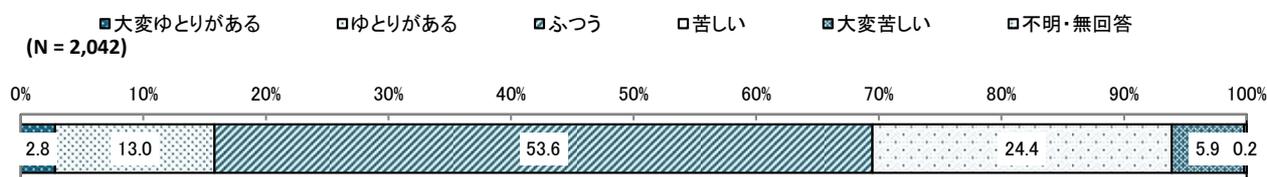


図 2-1-1-7 【等価世帯収入の水準別】暮らしの状況についての認識

(件、%)

	全 体	大変ゆとり がある	ゆとりがあ る	ふつう	苦しい	大変苦しい	
全 体	2,037	2.8	13.1	53.8	24.5	5.9	
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	217	0.5	0.9	25.3	47.0	26.3
	中央値未満	782	1.0	4.2	54.9	33.2	6.6
	中央値以上	1,038	4.6	22.3	58.9	13.2	1.1

図 2-1-1-8 【世帯状況別】暮らしの状況についての認識

(件、%)

	全 体	大変ゆとり がある	ゆとりがあ る	ふつう	苦しい	大変苦しい	
全 体	2,037	2.8	13.1	53.8	24.5	5.9	
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,836	2.8	14.1	56.0	23.0	4.1
	【ひとり親世帯】	198	2.5	4.0	32.8	38.4	22.2
	母子世帯のみ	183	2.2	4.4	32.2	38.8	22.4

(3) 食料が買えなかった経験

保護者票問 2 5. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料や衣服が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品(しこうひん)は含みません。また、公共料金が未払いになったことはありましたか。

(a～e それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

a. 家族が必要とする食料が買えなかった

過去 1 年間に必要とする食料が買えなかった経験があったかについては、「よくあった」の割合が 1.0 %、「ときどきあった」の割合が 4.2%、「まれにあった」の割合が 7.2%となっており、合わせて 12.4%となっている。

「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 36.6%、「中央値未満」の世帯では 16.3%、「中央値以上」の世帯では 4.7%となっている。

世帯状況別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 10.8%、「ひとり親世帯」では 28.9%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 29.9%となっている。

図 2-1-1-9 a.食料が買えなかった経験

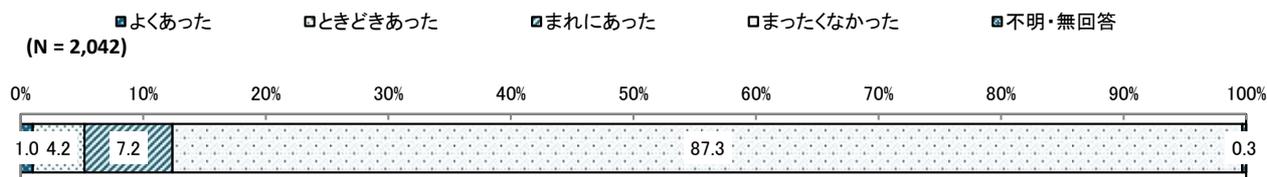


図 2-1-1-10 【等価世帯収入の水準別】a.食料が買えなかった経験

(件、%)

		全 体	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
全 体		2,036	1.0	4.2	7.3	87.5
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	213	4.2	15.0	17.4	63.4
	中央値未満	784	1.3	5.7	9.3	83.7
	中央値以上	1,039	0.2	0.8	3.7	95.4

図 2-1-1-11 【世帯状況別】a.食料が買えなかった経験

(件、%)

		全 体	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
全 体		2,036	1.0	4.2	7.3	87.5
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,839	0.8	3.4	6.6	89.2
	【ひとり親世帯】	194	3.6	11.9	13.4	71.1
	母子世帯のみ	181	2.8	12.7	14.4	70.2

(4) 衣服が買えなかった経験

保護者票問 2 5. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料や衣服が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品(しこうひん)は含みません。また、公共料金が未払いになったことはありましたか。

(a～e それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

b. 家族が必要とする衣服が買えなかった

過去 1 年間に必要とする衣服が買えなかった経験があったかについては、「よくあった」の割合が 2.1%、「ときどきあった」の割合が 5.2%、「まれにあった」の割合が 10.1%となっており、合わせて 17.4%となっている。

「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 48.7%、「中央値未満」の世帯では 23.6%、「中央値以上」の世帯では 6.3%となっている。

世帯状況別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」で 15.1%、「ひとり親世帯」および「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 40.0 %と同率となっている。

図 2-1-1-12 b.衣服が買えなかった経験

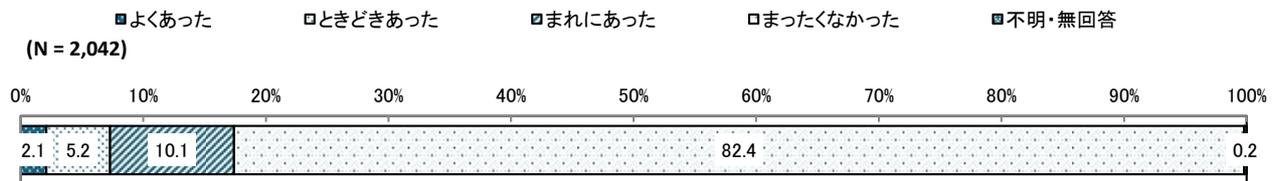


図 2-1-1-13 【等価世帯収入の水準別】b.衣服が買えなかった経験

(件、%)

		全 体	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
全 体		2,037	2.1	5.2	10.2	82.6
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	214	8.9	17.8	22.0	51.4
	中央値未満	786	2.7	6.5	14.4	76.5
	中央値以上	1,037	0.2	1.6	4.5	93.6

図 2-1-1-14 【世帯状況別】b.衣服が買えなかった経験

(件、%)

		全 体	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
全 体		2,037	2.1	5.2	10.2	82.6
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,839	1.5	4.4	9.2	84.9
	【ひとり親世帯】	195	7.7	12.8	19.5	60.0
	母子世帯のみ	180	7.2	13.9	18.9	60.0

(5) 公共料金における未払いの経験

保護者票問 2 5. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料や衣服が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品(しこうひん)は含みません。また、公共料金が未払いになったことはありましたか。

(a～e それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

- c. 電気料金が未払いになった
- d. ガス料金が未払いになった
- e. 水道料金が未払いになった

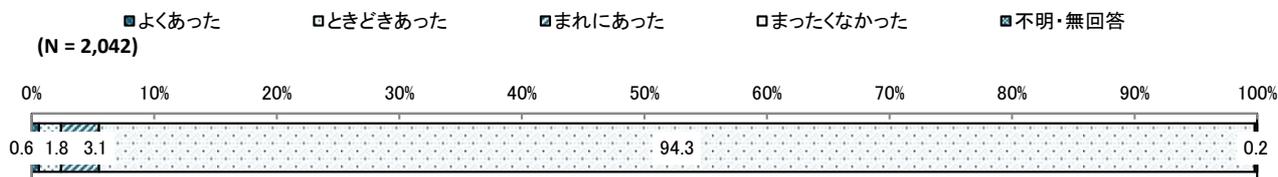
過去 1 年間に、「電気料金」、「ガス料金」、「水道料金」について経済的な理由で未払いになったことがあったかについて、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、それぞれ 5.5%、3.9%、4.4%となっている。

未払いの経験について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「電気料金」は 21.9%、「ガス料金」、「水道料金」はともに 18.7%となっている。

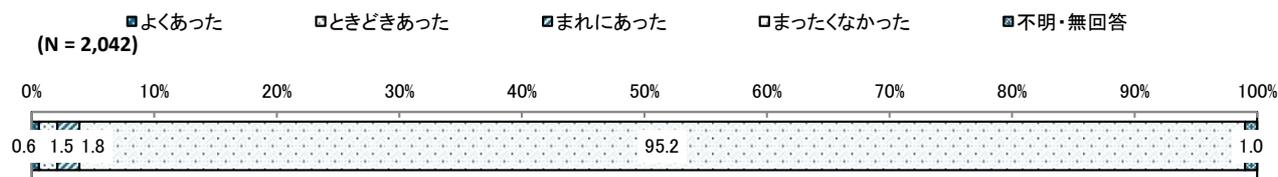
世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「電気料金」は 15.4%、「ガス料金」は 12.9%、「水道料金」は 15.4%となっている。「ひとり親世帯のうち母子世帯」では、「電気料金」は 15.3%、「ガス料金」は 12.7%、「水道料金」は 15.3%となっている。

図 2-1-1-15 公共料金における未払いの経験

c. 電気料金



d. ガス料金



e. 水道料金

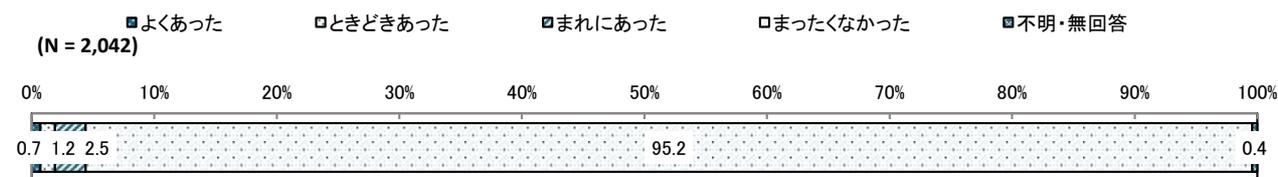


図 2-1-1-16 【等価世帯収入の水準別】公共料金における未払いの経験

c. 電気料金

(件、%)

		全 体	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
全 体		2,038	0.6	1.8	3.1	94.5
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	215	3.3	9.3	9.3	78.1
	中央値未満	785	0.8	1.9	3.7	93.6
	中央値以上	1,038	0.0	0.1	1.3	98.6

d. ガス料金

(件、%)

		全 体	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
全 体		2,022	0.6	1.5	1.8	96.1
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	214	3.3	8.4	7.0	81.3
	中央値未満	773	0.6	1.3	1.6	96.5
	中央値以上	1,035	0.0	0.2	1.0	98.8

e. 水道料金

(件、%)

		全 体	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
全 体		2,033	0.7	1.2	2.6	95.6
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	214	2.8	7.5	8.4	81.3
	中央値未満	782	1.0	1.0	2.9	95.0
	中央値以上	1,037	0.0	0.0	1.1	98.9

図 2-1-1-17 【世帯状況別】公共料金における未払いの経験

c. 電気料金

(件、%)

		全 体	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
全 体		2,038	0.6	1.8	3.1	94.5
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,840	0.4	1.5	2.6	95.6
	【ひとり親世帯】	195	3.1	4.6	7.7	84.6
	母子世帯のみ	182	2.2	4.9	8.2	84.6

d. ガス料金

(件、%)

		全 体	よくあった	ときどきあつた	まれにあつた	まったくなかつた
全 体		2,022	0.6	1.5	1.8	96.1
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,825	0.3	1.2	1.4	97.0
	【ひとり親世帯】	194	3.1	4.1	5.7	87.1
	母子世帯のみ	181	2.2	4.4	6.1	87.3

e. 水道料金

(件、%)

		全 体	よくあった	ときどきあつた	まれにあつた	まったくなかつた
全 体		2,033	0.7	1.2	2.6	95.6
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,835	0.5	0.9	1.9	96.7
	【ひとり親世帯】	195	2.6	4.1	8.7	84.6
	母子世帯のみ	182	1.6	4.4	9.3	84.6

(6) 物価高騰の影響を受けた心配や不安

保護者票問 2 6. あなたのご家庭の現在の生活は、物価高騰の影響を受けて心配や不安がありますか。

(a~h それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

- a. 食費を抑えているので、子どもの健康状況が心配だ
- b. 食費を抑え、子どもを優先しているので、自分の健康状況が心配だ
- c. 冷暖房など電気代を控えているので、健康状況が心配だ
- d. 子どもの塾や習い事をさせてやれないので、勉強や体験不足が心配だ
- e. 家族旅行や外食を控えているので、子どもや家族のストレスが心配だ
- f. 家賃や光熱費など払えずに滞納しており、将来が不安だ
- g. 貯金ができなくなり、長引くと子どもの将来が心配だ
- h. 今のところはなんとかやりくりをしているが不安を感じている

物価高騰の影響を受けて心配や不安があるかについて、「とてもそう思う」と「ときどきそう思う」を合わせた割合は、それぞれ、「食費を抑えているので、子どもの健康状況が心配だ」が 25.2%、「食費を抑え、子どもを優先しているので、自分の健康状況が心配だ」が 19.8%、「冷暖房など電気代を控えているので、健康状況が心配だ」が 22.3%、「子どもの塾や習い事をさせてやれないので、勉強や体験不足が心配だ」が 26.5%、「家族旅行や外食を控えているので、子どもや家族のストレスが心配だ」が 29.9%、「家賃や光熱費など払えずに滞納しており、将来が不安だ」が 5.3%、「貯金ができなくなり、長引くと子どもの将来が心配だ」が 55.5%、「今のところはなんとかやりくりをしているが不安を感じている」が 72.5%となっている。

「とてもそう思う」と「ときどきそう思う」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では、「食費を抑えているので、子どもの健康状況が心配だ」は 48.2%、「食費を抑え、子どもを優先しているので、自分の健康状況が心配だ」は 39.5%、「冷暖房など電気代を控えているので、健康状況が心配だ」は 44.3%、「子どもの塾や習い事をさせてやれないので、勉強や体験不足が心配だ」は 56.2%、「家族旅行や外食を控えているので、子どもや家族のストレスが心配だ」は 52.5%、「家賃や光熱費など払えずに滞納しており、将来が不安だ」は 21.0%、「貯金ができなくなり、長引くと子どもの将来が心配だ」は 87.0%、「今のところはなんとかやりくりをしているが不安を感じている」は 90.8%となっている。

「とてもそう思う」と「ときどきそう思う」を合わせた割合について、世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「食費を抑えているので、子どもの健康状況が心配だ」は 50.0%、「食費を抑え、子どもを優先しているので、自分の健康状況が心配だ」は 38.9%、「冷暖房など電気代を控えているので、健康状況が心配だ」は 45.9%、「子どもの塾や習い事をさせてやれないので、勉強や体験不足が心配だ」は 55.3%、「家族旅行や外食を控えているので、子どもや家族のストレスが心配だ」は 50.0%、「家賃や光熱費など払えずに滞納しており、将来が不安だ」は 15.3%、「貯金ができなくなり、長引くと子どもの将来が心配だ」は 78.2%、「今のところはなんとかやりくりをしているが不安を感じている」は 85.2%となっている。

図 2-1-1-18 物価高騰の影響を受けた不安や心配について

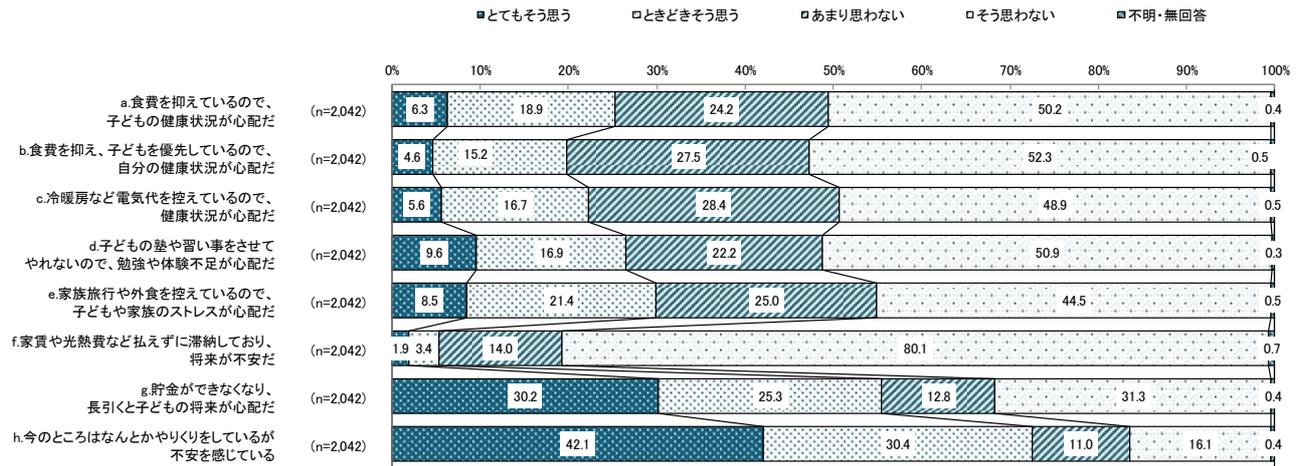


図 2-1-1-19【等価世帯収入の水準別】物価高騰の影響を受けた不安や心配について

a. 食費を抑えているため、子どもの健康状況が心配

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ととききそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,034	6.3	19.0	24.3	50.4
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	216	16.7	31.5	28.2	23.6
	中央値未満	783	7.9	25.7	27.1	39.3
	中央値以上	1,035	2.9	11.3	21.4	64.3

b. 食費を抑え、子どもを優先しているため、自分の健康状況が心配

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ととききそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,032	4.6	15.3	27.6	52.5
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	215	10.7	28.8	33.5	27.0
	中央値未満	782	5.9	19.2	33.2	41.7
	中央値以上	1,035	2.3	9.6	22.1	66.0

c. 冷暖房など電気代を控えているため、健康状況が心配

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ととききそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,031	5.6	16.7	28.5	49.1
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	217	13.4	30.9	31.8	24.0
	中央値未満	779	7.6	20.8	32.0	39.7
	中央値以上	1,035	2.5	10.7	25.2	61.5

d. 子どもの塾や習い事をさせてやれないため、勉強や体験不足が心配

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ときどきそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,035	9.6	17.0	22.3	51.1
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	217	26.7	29.5	25.3	18.4
	中央値未満	782	13.3	23.4	23.1	40.2
	中央値以上	1,036	3.3	9.5	21.0	66.2

e. 家族旅行や外食を控えているため、子どもや家族のストレスが心配

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ときどきそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,031	8.5	21.6	25.2	44.8
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	215	22.3	30.2	30.7	16.7
	中央値未満	782	12.3	30.1	24.3	33.4
	中央値以上	1,034	2.8	13.3	24.7	59.2

f. 家賃や光熱費など払えずに滞納しており、将来が不安

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ときどきそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,027	1.9	3.4	14.1	80.7
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	214	8.4	12.6	22.0	57.0
	中央値未満	779	2.1	4.2	17.7	76.0
	中央値以上	1,034	0.4	0.9	9.7	89.1

g. 貯金ができなくなり、長引くと子どもの将来が心配

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ときどきそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,034	30.3	25.4	12.8	31.4
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	215	58.6	28.4	7.0	6.0
	中央値未満	783	39.6	30.0	12.1	18.3
	中央値以上	1,036	17.5	21.3	14.6	46.6

h. 今のところはなんとかやりくりをしているが不安を感じている

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ときどきそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,033	42.3	30.5	11.1	16.1
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	216	68.1	22.7	4.6	4.6
	中央値未満	781	55.6	27.9	7.9	8.6
	中央値以上	1,036	26.8	34.2	14.8	24.2

図 2-1-1-20【世帯状況別】物価高騰の影響を受けた不安や心配について

a. 食費を抑えているため、子どもの健康状況が心配

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ときどきそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,034	6.3	19.0	24.3	50.4
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,833	5.4	17.2	24.4	53.0
	【ひとり親世帯】	198	14.6	35.4	23.7	26.3
	母子世帯のみ	183	14.8	35.5	23.5	26.2

b. 食費を抑え、子どもを優先しているため、自分の健康状況が心配

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ときどきそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,032	4.6	15.3	27.6	52.5
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,831	4.1	13.8	27.0	55.1
	【ひとり親世帯】	198	9.1	29.8	32.8	28.3
	母子世帯のみ	183	8.7	29.5	33.9	27.9

c. 冷暖房など電気代を控えているため、健康状況が心配

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ときどきそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,031	5.6	16.7	28.5	49.1
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,830	4.9	14.9	28.6	51.6
	【ひとり親世帯】	198	12.1	33.8	27.3	26.8
	母子世帯のみ	183	12.0	33.9	27.9	26.2

d. 子どもの塾や習い事をさせてやれないため、勉強や体験不足が心配

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ときどきそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,035	9.6	17.0	22.3	51.1
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,835	7.8	15.7	22.6	53.8
	【ひとり親世帯】	197	26.9	28.4	19.3	25.4
	母子世帯のみ	182	29.1	26.9	18.1	25.8

e. 家族旅行や外食を控えているため、子どもや家族のストレスが心配

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ときどきそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,031	8.5	21.6	25.2	44.8
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,830	7.2	20.8	25.0	47.0
	【ひとり親世帯】	198	21.2	28.8	26.3	23.7
	母子世帯のみ	183	19.7	29.5	26.8	24.0

f. 家賃や光熱費など払えずに滞納しており、将来が不安

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ときどきそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,027	1.9	3.4	14.1	80.7
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,828	1.6	2.6	13.5	82.3
	【ひとり親世帯】	196	4.6	10.7	18.9	65.8
	母子世帯のみ	181	4.4	11.0	18.2	66.3

g. 貯金ができなくなり、長引くと子どもの将来が心配

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ときどきそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,034	30.3	25.4	12.8	31.4
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,834	27.9	25.4	13.5	33.2
	【ひとり親世帯】	197	52.8	25.4	6.1	15.7
	母子世帯のみ	183	55.2	24.0	5.5	15.3

h. 今のところはなんとかやりくりをしているが不安を感じている

(件、%)

		全 体	とてもそう思 う	ときどきそう 思う	あまり思わ ない	そう思わな い
全 体		2,033	42.3	30.5	11.1	16.1
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,833	40.1	31.4	11.6	17.0
	【ひとり親世帯】	197	62.4	22.8	6.1	8.6
	母子世帯のみ	183	63.9	21.9	6.6	7.7

(7) 養育費の取り決めの有無

【問5で2（「離婚」と回答した方に）

保護者票問6. 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまるもの1つに○）

婚姻の状況について「離婚」と回答した方に関し、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしているかについて尋ねた。取り決めの状況別の割合について、「取り決めをしており、受け取っている」が42.7%、「特に取り決めはしていないが、受け取っている」が2.3%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が12.9%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が35.1%となっている。「取り決めをしているが、受け取っていない」と「取り決めをしておらず、受け取っていない」を合わせた「受け取っていない」割合は48.0%となっている。

母子世帯のみで集計すると、「取り決めをしているが、受け取っていない」が12.3%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が34.4%となっており、合わせて46.7%となっている。

図 2-1-1-21 養育費の取り決めの有無

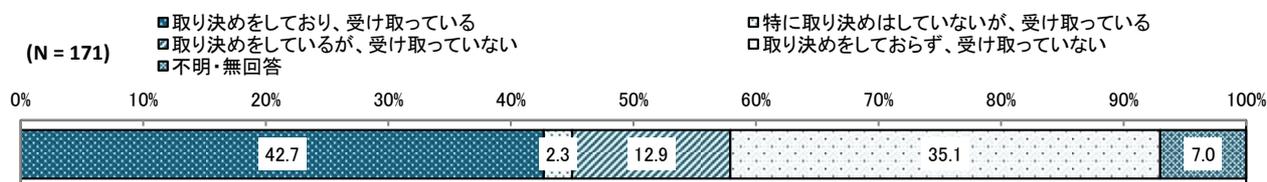
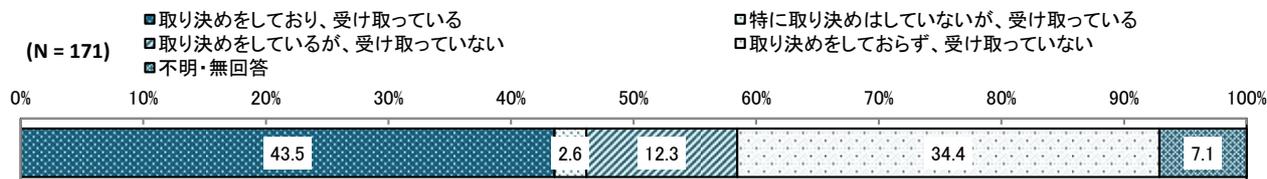


図 2-1-1-22 母子世帯、養育費の取り決めの有無



2.1.2.就労の状況

(1) 母親・父親の就労状況

保護者票問9. お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(a.母親,b.父親、それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

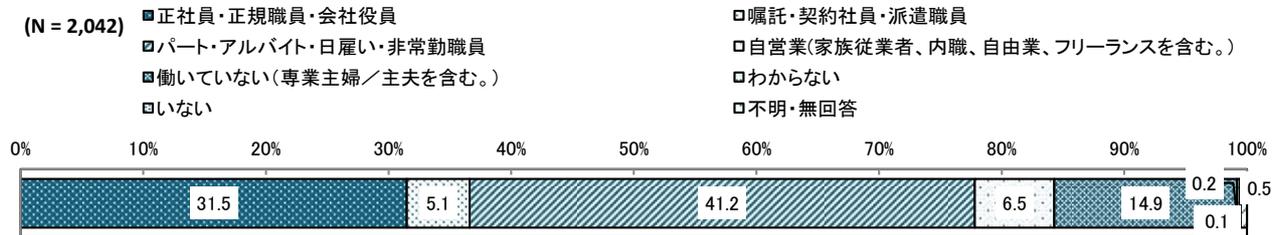
「母親」の就労状況別の割合については、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 41.2%、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が 31.5%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む。）」が 14.9%となっている。また、「父親」の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」が 82.1%、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」が 8.8%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「母親」の就労状況は、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が 47.9%、「正社員・正規職員・会社役員」の割合は 18.6%となっている。「父親」の就労状況は、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「正社員・正規職員・会社役員」の割合が 47.2%、「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」の割合が 24.5%となっている。

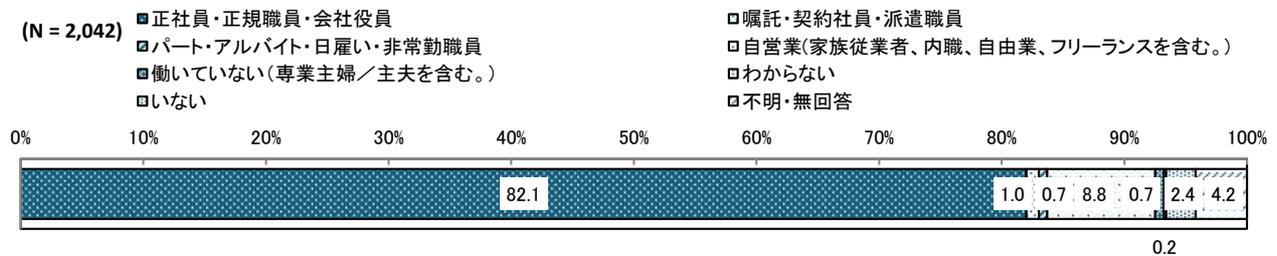
また、世帯状況別にみると、「母親」の就労状況は、「ふたり親世帯」では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が 42.5%で、「ひとり親世帯」と比べて高く、「ひとり親世帯」では、「正社員・正規職員・会社役員」の割合が 50.0%で、「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

図 2-1-2-1 父母の就労状況

・a.母親



・b.父親



※離別等で世帯外に転出している元配偶者等の就労状況について回答している場合は、それも含めて集計した。

図 2-1-2-2 から図 2-1-2-5 までについても同様である。

図 2-1-2-2 【等価世帯収入の水準別】母親の就労状況

(件、%)

		全 体	正社員・正 規職員・会 社役員	嘱託・契約 社員・派遣 職員	パート・アル バイト・日雇 い・非常勤 職員	自営業(家 族従業者、 内職、自由 業、フリーラ ンスを含 む。)	働いていな い(専業主 婦/主夫を 含む。)	わからない	いない
全 体		2,032	31.6	5.2	41.4	6.5	15.0	0.2	0.1
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	215	18.6	4.7	47.9	12.6	15.3	0.9	0.0
	中央値未満	781	25.5	3.3	50.4	6.0	14.5	0.1	0.1
	中央値以上	1,036	39.0	6.7	33.2	5.7	15.3	0.1	0.1

図 2-1-2-3 【等価世帯収入の水準別】父親の就労状況

(件、%)

		全 体	正社員・正 規職員・会 社役員	嘱託・契約 社員・派遣 職員	パート・アル バイト・日雇 い・非常勤 職員	自営業(家 族従業者、 内職、自由 業、フリーラ ンスを含 む。)	働いていな い(専業主 婦/主夫を 含む。)	わからない	いない
全 体		1,957	85.6	1.1	0.7	9.1	0.7	0.3	2.5
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	163	47.2	2.5	3.1	24.5	2.5	1.2	19.0
	中央値未満	757	85.1	1.7	0.5	9.6	1.1	0.4	1.6
	中央値以上	1,037	92.1	0.4	0.5	6.4	0.2	0.0	0.5

図 2-1-2-4 【世帯状況別】母親の就労状況

(件、%)

		全 体	正社員・正 規職員・会 社役員	嘱託・契約 社員・派遣 職員	パート・アル バイト・日雇 い・非常勤 職員	自営業(家 族従業者、 内職、自由 業、フリーラ ンスを含 む。)	働いていな い(専業主 婦/主夫を 含む。)	わからない	いない
全 体		2,032	31.6	5.2	41.4	6.5	15.0	0.2	0.1
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,838	29.7	5.3	42.5	6.7	15.7	0.1	0.0
	【ひとり親世帯】	192	50.0	4.2	30.7	4.7	8.3	1.0	1.0
	母子世帯のみ	182	51.1	3.8	31.9	4.9	7.7	0.5	0.0

図 2-1-2-5 【世帯状況別】父親の就労状況

(件、%)

		全 体	正社員・正 規職員・会 社役員	嘱託・契約 社員・派遣 職員	パート・アル バイト・日雇 い・非常勤 職員	自営業(家 族従業者、 内職、自由 業、フリーラ ンスを含 む。)	働いていな い(専業主 婦/主夫を 含む。)	わからない	いない
全 体		1,957	85.6	1.1	0.7	9.1	0.7	0.3	2.5
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,837	88.4	1.1	0.8	9.0	0.7	0.0	0.1
	【ひとり親世帯】	117	42.7	0.0	0.0	12.0	0.9	4.3	40.2
	母子世帯のみ	102	39.2	0.0	0.0	12.7	0.0	3.9	44.1

(2) 働いていない理由

【問9で5（「働いていない（専業主婦／主夫を含む。）」）と回答した方に】

保護者票問10. 前問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。

(a.母親,b.父親、それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

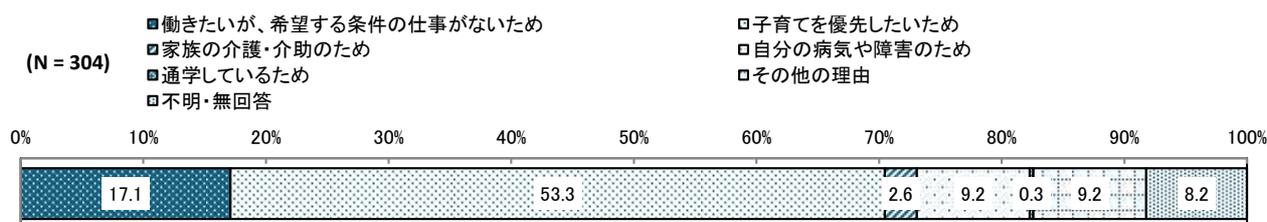
就労状況について「働いていない（専業主婦／主夫を含む。）」と回答した場合、働いていない理由を尋ねた。働いていない最も主な理由として、「母親」では、「子育てを優先したいため」の割合が53.3%、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」の割合が17.1%となっている。「父親」に関しては⁵、「自分の病気や障害のため」の割合が50.0%、「子育てを優先したいため」の割合が28.6%となっている。

「母親」が働いていない理由について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「自分の病気や障害のため」の割合が25.8%で、他の水準の世帯と比べて高くなっている。

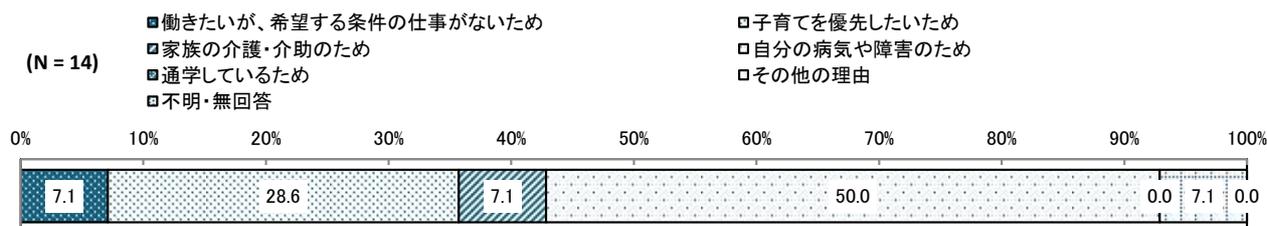
「母親」が働いていない理由について、世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「自分の病気や障害のため」の割合が46.7%で、「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

図 2-1-2-6 母親・父親が働いていない理由

・母親



・父親



※離別等で世帯外に転出している元配偶者等の就労状況について回答している場合はそれも含めて集計した。

図 2-1-2-7 から図 2-1-2-10 までについても同様である。

⁵ 「父親」が働いていない理由に関しては集計対象件数が少ないため解釈等が難しいが、等価世帯収入の水準別、世帯の状況別のそれぞれについて集計結果を示した。

図 2-1-2-7 【等価世帯収入の水準別】母親が働いていない理由

(件、%)

		全 体	働きたい が、希望する 条件の仕事 がないため	子育てを優 先したいた め	家族の介 護・介助の ため	自分の病気 や障害のた め	通学してい るため	その他の理 由
全 体		279	18.6	58.1	2.9	10.0	0.4	10.0
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	31	19.4	35.5	6.5	25.8	3.2	9.7
	中央値未満	105	23.8	48.6	4.8	12.4	0.0	10.5
	中央値以上	143	14.7	69.9	0.7	4.9	0.0	9.8

図 2-1-2-8 【等価世帯収入の水準別】父親が働いていない理由

(件、%)

		全 体	働きたい が、希望する 条件の仕事 がないため	子育てを優 先したいた め	家族の介 護・介助の ため	自分の病気 や障害のた め	通学してい るため	その他の理 由
全 体		14	7.1	28.6	7.1	50.0	0.0	7.1
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	4	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	中央値未満	8	12.5	25.0	0.0	62.5	0.0	0.0
	中央値以上	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

図 2-1-2-9 【世帯状況別】母親が働いていない理由

(件、%)

		全 体	働きたい が、希望する 条件の仕事 がないため	子育てを優 先したいた め	家族の介 護・介助の ため	自分の病気 や障害のた め	通学してい るため	その他の理 由
全 体		279	18.6	58.1	2.9	10.0	0.4	10.0
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	264	18.9	60.2	3.0	8.0	0.0	9.8
	【ひとり親世帯】	15	13.3	20.0	0.0	46.7	6.7	13.3
	母子世帯のみ	13	15.4	23.1	0.0	46.2	7.7	7.7

図 2-1-2-10 【世帯状況別】父親が働いていない理由

(件、%)

		全 体	働きたい が、希望する 条件の仕事 がないため	子育てを優 先したいた め	家族の介 護・介助の ため	自分の病気 や障害のた め	通学してい るため	その他の理 由
全 体		14	7.1	28.6	7.1	50.0	0.0	7.1
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	12	8.3	16.7	8.3	58.3	0.0	8.3
	【ひとり親世帯】	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	母子世帯のみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2.1.3.保育の状況

(1) 子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等

保護者票問7. お子さんが a)0～2歳の間と、b)3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で主なもの（最も期間が長いもの）をお答えください。

(a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等で主なものについては、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合が51.5%、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の割合が35.6%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、異なる水準の世帯間で大きな差は見られない。

世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「ふたり親世帯」に比べて、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合が42.3%で低く、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の割合が48.4%で高くなっている。

図 2-1-3-1 子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等

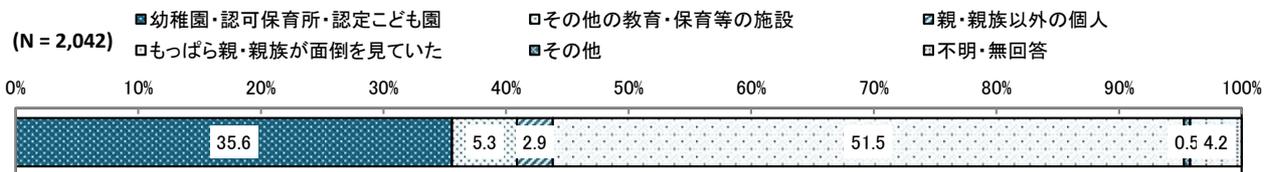


図 2-1-3-2 【等価世帯収入の水準別】子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等

(件、%)

		全 体	幼稚園・認可保育所・認定こども園	その他の教育・保育等の施設	親・親族以外の個人	もっぱら親・親族が面倒を見ていた	その他
全 体		1,956	37.1	5.5	3.1	53.8	0.5
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	199	38.2	4.5	3.5	52.3	1.5
	中央値未満	747	33.5	5.4	3.3	57.6	0.3
	中央値以上	1,010	39.6	5.8	2.8	51.3	0.5

図 2-1-3-3 【世帯状況別】子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等

(件、%)

		全 体	幼稚園・認可保育所・認定こども園	その他の教育・保育等の施設	親・親族以外の個人	もっぱら親・親族が面倒を見ていた	その他
全 体		1,956	37.1	5.5	3.1	53.8	0.5
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,771	35.9	5.4	3.3	55.0	0.4
	【ひとり親世帯】	182	48.4	6.6	1.1	42.3	1.6
	母子世帯のみ	170	50.0	5.9	0.6	42.9	0.6

(2) 子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等

保護者票問7. お子さんが a) 0～2歳の間と、b) 3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で主なもの（最も期間が長いもの）をお答えください。

(a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等は、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の割合が92.0%、「その他の教育・保育等の施設」の割合が4.5%、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合が2.2%となっている。
等価世帯収入の水準別にみると、異なる水準の世帯間で大きな差は見られない。
世帯状況別にみても、「ふたり親世帯」と、「ひとり親世帯」で大きな差は見られない。

図 2-1-3-4 子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等

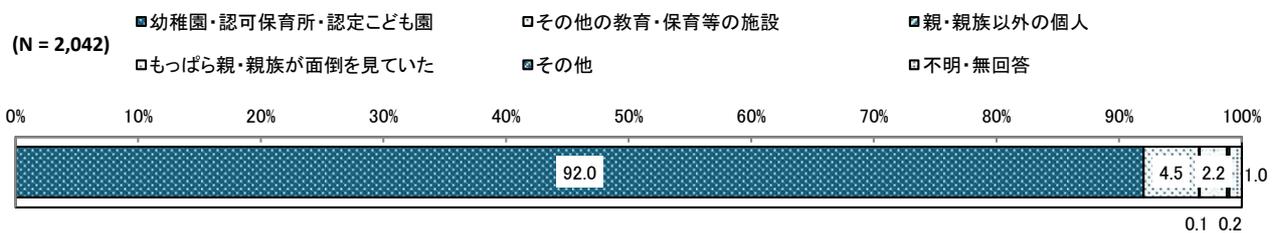


図 2-1-3-5 【等価世帯収入の水準別】子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等

(件、%)

		全 体	幼稚園・認可保育所・認定こども園	その他の教育・保育等の施設	親・親族以外の個人	もっぱら親・親族が面倒を見ていた	その他
全 体		2,021	92.9	4.6	0.1	2.2	0.2
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	215	90.7	5.1	0.5	3.3	0.5
	中央値未満	776	92.7	4.8	0.0	2.4	0.1
	中央値以上	1,030	93.6	4.3	0.2	1.7	0.2

図 2-1-3-6 【世帯状況別】子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等

(件、%)

		全 体	幼稚園・認可保育所・認定こども園	その他の教育・保育等の施設	親・親族以外の個人	もっぱら親・親族が面倒を見ていた	その他
全 体		2,021	92.9	4.6	0.1	2.2	0.2
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,824	93.1	4.3	0.2	2.2	0.2
	【ひとり親世帯】	194	90.7	7.2	0.0	2.1	0.0
	母子世帯のみ	180	91.7	6.1	0.0	2.2	0.0

2.1.4.子どもとの関わり方

(1) テレビ等のルールについて

保護者票問 1 1. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

(a~g それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

a. テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、「あてはまる」の割合は 33.3%、「どちらかといえば、あてはまる」の割合は 40.5%となっており、合わせて 73.8%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」の割合は 16.7%、「あてはまらない」の割合は 9.5%となっており、合わせて 26.2%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 24.4%、「中央値未満」の世帯では 27.3%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 31.4%となっている。

世帯状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 25.0%、「ひとり親世帯」では 37.4%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 37.7%となっている。

図 2-1-4-1 テレビ等のルールについて子どもとの関わり方

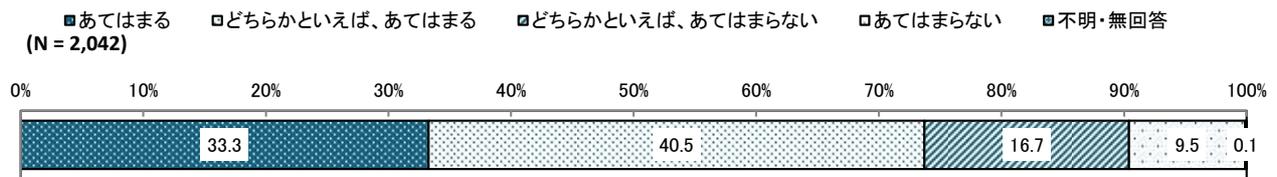


図 2-1-4-2 【等価世帯収入の水準別】テレビ等のルールについて子どもとの関わり方

(件、%)

		全 体	あてはまる	どちらかとい えば、あて はまる	どちらかとい えば、あて はまらない	あてはまら ない
全 体		2,040	33.3	40.5	16.7	9.5
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	217	26.7	41.9	18.0	13.4
	中央値未満	785	32.7	40.0	18.0	9.3
	中央値以上	1,038	35.1	40.6	15.5	8.9

図 2-1-4-3 【世帯状況別】テレビ等のルールについて子どもとの関わり方

(件、%)

		全 体	あてはまる	どちらかとい えば、あて はまる	どちらかとい えば、あて はまらない	あてはまら ない
全 体		2,040	33.3	40.5	16.7	9.5
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,839	34.1	40.9	16.2	8.8
	【ひとり親世帯】	198	25.3	37.4	20.7	16.7
	母子世帯のみ	183	24.6	37.7	20.8	16.9

(2) 本や新聞を読むことについて

保護者票問 1 1. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

(a~g それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

b. お子さんに本や新聞を読むように勧めている

子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、「あてはまる」の割合は 21.8%、「どちらかといえば、あてはまる」の割合は 40.8%となっており、合わせて 62.6%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」の割合は 24.6%、「あてはまらない」の割合は 12.6%となっており、合わせて 37.2%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 32.2%、「中央値未満」の世帯では 41.3%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 46.9%となっている。

世帯状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 35.8%、「ひとり親世帯」では 50.7%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 51.1%となっている。

図 2-1-4-4 本や新聞を読むことについて子どもとの関わり方

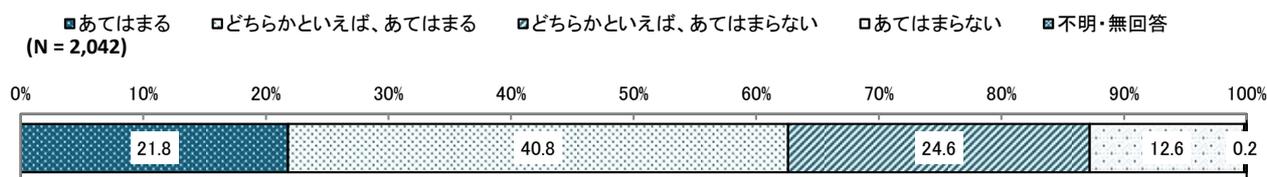


図 2-1-4-5 【等価世帯収入の水準別】本や新聞を読むことについて子どもとの関わり方

(件、%)

		全 体	あてはまる	どちらかとい えば、あて はまる	どちらかとい えば、あて はまらない	あてはまら ない
全 体		2,038	21.8	40.9	24.6	12.6
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	215	16.7	36.3	27.4	19.5
	中央値未満	785	17.7	41.0	26.9	14.4
	中央値以上	1,038	26.0	41.8	22.4	9.8

図 2-1-4-6 【世帯状況別】本や新聞を読むことについて子どもとの関わり方

(件、%)

		全 体	あてはまる	どちらかとい えば、あて はまる	どちらかとい えば、あて はまらない	あてはまら ない
全 体		2,038	21.8	40.9	24.6	12.6
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,838	22.5	41.8	24.2	11.6
	【ひとり親世帯】	197	16.2	33.0	28.4	22.3
	母子世帯のみ	182	15.9	33.0	28.0	23.1

(3) 生活のルールについて

保護者票問 1 1. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

(a~g それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

c. 帰宅時間、就寝時間など生活ルールを決めている

子どもの帰宅時間、就寝時間など生活ルールを決めているかについて、「あてはまる」の割合は 41.7%、「どちらかといえば、あてはまる」の割合は 45.1%となっており、合わせて 86.8%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」の割合は 9.0%、「あてはまらない」の割合は 3.8%となっており、合わせて 12.8%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 11.0%、「中央値未満」の世帯では 13.8%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 17.6%となっている。

世帯状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 11.7%、「ひとり親世帯」では 21.8%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 21.9%となっている。

図 2-1-4-7 生活のルールについて子どもとの関わり方

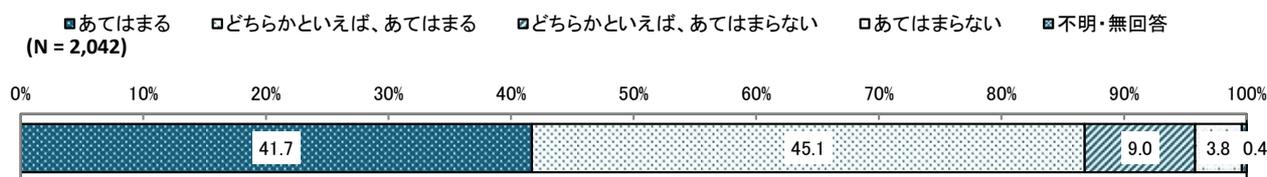


図 2-1-4-8 【等価世帯収入の水準別】生活のルールについて子どもとの関わり方

(件、%)

		全 体	あてはまる	どちらかとい えば、あて はまる	どちらかとい えば、あて はまらない	あてはまら ない
全 体		2,033	41.9	45.3	9.0	3.8
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	216	38.9	43.5	11.1	6.5
	中央値未満	780	40.1	46.0	10.1	3.7
	中央値以上	1,037	43.9	45.1	7.7	3.3

図 2-1-4-9【世帯状況別】生活のルールについて子どもとの関わり方

(件、%)

		全 体	あてはまる	どちらかとい えば、あて はまる	どちらかとい えば、あて はまらない	あてはまら ない
全 体		2,033	41.9	45.3	9.0	3.8
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,833	42.7	45.5	8.3	3.4
	【ひとり親世帯】	197	34.5	43.7	14.7	7.1
	母子世帯のみ	182	34.1	44.0	14.8	7.1

(4) 勉強や成績のことについて

保護者票問 1 1. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

(a~g それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

d. お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、「あてはまる」の割合は 44.4%、「どちらかといえば、あてはまる」の割合は 37.3%となっており、合わせて 81.7 %となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」の割合は 13.2%、「あてはまらない」の割合は 4.5%となっており、合わせて 17.7%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 13.2%、「中央値未満」の世帯では 21.4%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 26.5%となっている。

世帯状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 16.7%、「ひとり親世帯」では 28.2%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 29.5%となっている。

図 2-1-4-10 勉強や成績のことについて子どもとの関わり方

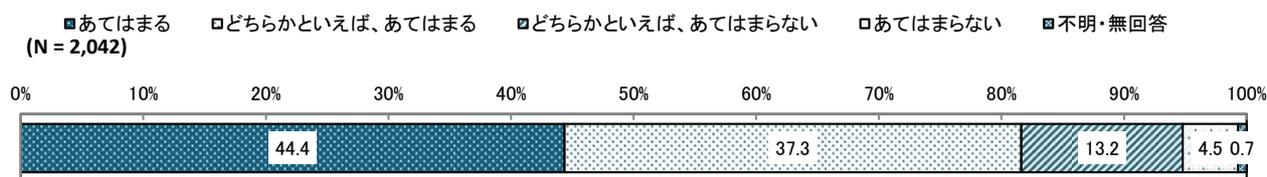


図 2-1-4-11 【等価世帯収入の水準別】勉強や成績のことについて子どもとの関わり方

(件、%)

		全 体	あてはまる	どちらかとい えば、あて はまる	どちらかとい えば、あて はまらない	あてはまら ない
全 体		2,028	44.7	37.6	13.3	4.5
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	215	42.8	30.7	16.3	10.2
	中央値未満	782	43.0	35.7	15.5	5.9
	中央値以上	1,031	46.4	40.4	11.0	2.2

図 2-1-4-12 【世帯状況別】勉強や成績のことについて子どもとの関わり方

(件、%)

		全 体	あてはまる	どちらかとい えば、あて はまる	どちらかとい えば、あて はまらない	あてはまら ない
全 体		2,028	44.7	37.6	13.3	4.5
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,830	44.8	38.6	12.8	3.9
	【ひとり親世帯】	195	44.1	27.7	17.9	10.3
	母子世帯のみ	180	43.3	27.2	18.9	10.6

(5) 絵本の読み聞かせについて

保護者票問 1 1. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

(a~g それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

e. お子さんが小さいころ絵本の読み聞かせをしていた

子どもが小さいころに絵本の読み聞かせをしたかについて、「あてはまる」の割合は 48.0%、「どちらかといえば、あてはまる」の割合は 33.9%となっており、合わせて 81.9%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」の割合は 12.8%、「あてはまらない」の割合は 4.8%となっており、合わせて 17.6%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 14.7%、「中央値未満」の世帯では 20.2%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 22.3%となっている。

世帯状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 16.9%、「ひとり親世帯」では 24.5%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 23.2%となっている。

図 2-1-4-13 絵本の読み聞かせについて子どもとの関わり方

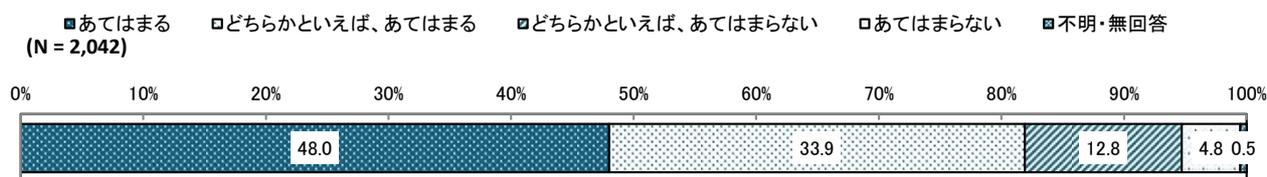


図 2-1-4-14 【等価世帯収入の水準別】絵本の読み聞かせについて子どもとの関わり方

(件、%)

		全 体	あてはまる	どちらかとい えば、あて はまる	どちらかとい えば、あて はまらない	あてはまら ない
全 体		2,031	48.3	34.1	12.9	4.8
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	215	35.3	42.3	13.0	9.3
	中央値未満	780	45.1	34.6	15.5	4.7
	中央値以上	1,036	53.3	32.0	10.8	3.9

図 2-1-4-15 【世帯状況別】絵本の読み聞かせについて子どもとの関わり方

(件、%)

		全 体	あてはまる	どちらかとい えば、あて はまる	どちらかとい えば、あて はまらない	あてはまら ない
全 体		2,031	48.3	34.1	12.9	4.8
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,832	49.2	34.0	12.5	4.4
	【ひとり親世帯】	196	39.8	35.7	16.3	8.2
	母子世帯のみ	181	41.4	35.4	15.5	7.7

(6) 子どもをたたいたことについて

保護者票問 1 1. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

(a~g それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

f. 最近の三か月間に、しつけの一環として子どもをたたいたことがある

しつけの一環として子どもをたたいたことがあるかについて、「あてはまる」の割合は 3.7%、「どちらかといえば、あてはまる」の割合は 6.2%となっており、合わせて 9.9%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」の割合は 11.0%、「あてはまらない」の割合は 78.9%となっており、合わせて 89.9%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 91.4%、「中央値未満」の世帯では 90.1%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 84.3%となっている。

世帯状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 90.5%、「ひとり親世帯」では 86.3%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 86.2%となっている。

図 2-1-4-16 子どもをたたいたことについて子どもとの関わり方



図 2-1-4-17 【等価世帯収入の水準別】子どもをたたいたことについて子どもとの関わり方

(件、%)

		全 体	あてはまる	どちらかとい えば、あて はまる	どちらかとい えば、あて はまらない	あてはまら ない
全 体		2,038	3.7	6.2	11.0	79.1
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	216	4.6	11.1	12.5	71.8
	中央値未満	784	3.7	6.3	11.9	78.2
	中央値以上	1,038	3.5	5.1	10.1	81.3

図 2-1-4-18 【世帯状況別】子どもをたたいたことについて子どもとの関わり方

(件、%)

		全 体	あてはまる	どちらかとい えば、あて はまる	どちらかとい えば、あて はまらない	あてはまら ない
全 体		2,038	3.7	6.2	11.0	79.1
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,838	3.4	6.0	11.0	79.5
	【ひとり親世帯】	197	6.6	7.1	11.2	75.1
	母子世帯のみ	182	7.1	6.6	11.5	74.7

(7) 子どもを怒鳴ったことについて

保護者票問 1 1. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

(a~g それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

g. 最近の三か月間に、しつけの一環として子どもを怒鳴ったことがある

しつけの一環として子どもを怒鳴ったことがあるかについて、「あてはまる」の割合は 16.6%、「どちらかといえば、あてはまる」の割合は 26.0%となっており、合わせて 42.6%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」の割合は 17.2%、「あてはまらない」の割合は 40.0%となっており、合わせて 57.2%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 58.9%、「中央値未満」の世帯では 56.6%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 52.1%となっている。

世帯状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 57.5%、「ひとり親世帯」では 55.6%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 55.2%となっている。

図 2-1-4-19 子どもを怒鳴ったことについて子どもとの関わり方

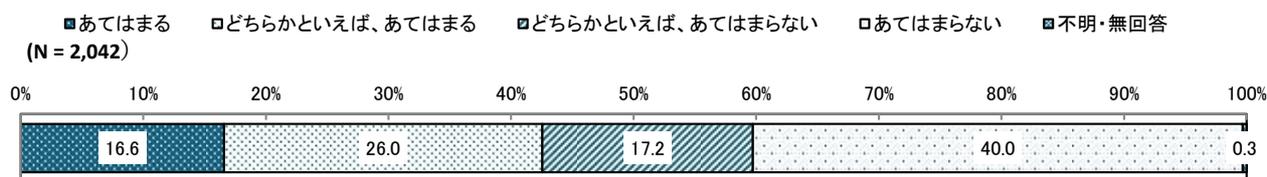


図 2-1-4-20【等価世帯収入の水準別】子どもを怒鳴ったことについて子どもとの関わり方

(件、%)

		全 体	あてはまる	どちらかとい えば、あて はまる	どちらかとい えば、あて はまらない	あてはまら ない
全 体		2,036	16.7	26.0	17.2	40.1
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	215	17.7	30.2	14.9	37.2
	中央値未満	784	16.1	27.3	15.9	40.7
	中央値以上	1,037	16.9	24.2	18.7	40.2

図 2-1-4-21【世帯状況別】子どもを怒鳴ったことについて子どもとの関わり方

(件、%)

		全 体	あてはまる	どちらかとい えば、あて はまる	どちらかとい えば、あて はまらない	あてはまら ない
全 体		2,036	16.7	26.0	17.2	40.1
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,837	16.5	26.0	17.3	40.2
	【ひとり親世帯】	196	17.9	26.5	16.8	38.8
	母子世帯のみ	181	18.8	26.0	16.0	39.2

(8) 子どもが食事をとる相手

保護者票問 13. 普段、お子さんは誰と食事をとっていますか。

(a.朝食,b.夕食、それぞれ、あてはまるもの1つに○)

子どもが食事をとる相手について、「家族（保護者やきょうだい）」ととる割合は、「朝食」が75.7%、「夕食」が96.4%となっている。

「家族（保護者やきょうだい）」ととる割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「朝食」が71.8%、「夕食」が92.6%となっている。

「家族（保護者やきょうだい）」ととる割合について世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「朝食」が68.9%、「夕食」が93.9%となっている。

図 2-1-4-22 子どもが食事をとる相手について

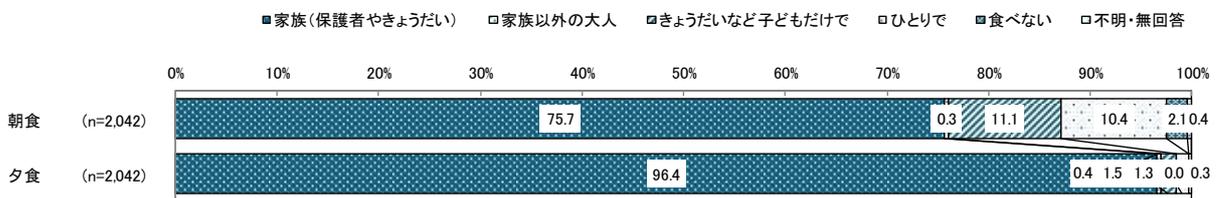


図 2-1-4-23 【等価世帯収入の水準別】子どもが食事をとる相手について

a. 朝食

(件、%)

		全 体	家族(保護者やきょうだい)	家族以外の大人	きょうだいなど子どもだけで	ひとりで	食べない
全 体		2,034	76.0	0.3	11.2	10.4	2.1
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	216	71.8	0.9	9.3	13.0	5.1
	中央値未満	782	75.3	0.5	12.7	9.8	1.7
	中央値以上	1,036	77.4	0.1	10.4	10.3	1.7

b. 夕食

(件、%)

		全 体	家族(保護者やきょうだい)	家族以外の大人	きょうだいなど子どもだけで	ひとりで	食べない
全 体		2,035	96.7	0.4	1.5	1.3	0.0
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	217	92.6	0.5	3.2	3.7	0.0
	中央値未満	781	97.3	0.3	1.3	1.2	0.0
	中央値以上	1,037	97.1	0.6	1.4	1.0	0.0

図 2-1-4-24 【世帯状況別】子どもが食事をとる相手について

a. 朝食

(件、%)

		全 体	家族(保護者やきょうだい)	家族以外の大人	きょうだいなど子どもだけで	ひとりで	食べない
全 体		2,034	76.0	0.3	11.2	10.4	2.1
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,835	76.8	0.3	11.4	9.9	1.6
	【ひとり親世帯】	196	68.9	1.0	8.7	15.3	6.1
	母子世帯のみ	181	68.0	1.1	9.4	16.0	5.5

b. 夕食

(件、%)

		全 体	家族(保護者やきょうだい)	家族以外の大人	きょうだいなど子どもだけで	ひとりで	食べない
全 体		2,035	96.7	0.4	1.5	1.3	0.0
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,835	97.0	0.4	1.5	1.1	0.0
	【ひとり親世帯】	197	93.9	0.5	2.0	3.6	0.0
	母子世帯のみ	182	93.4	0.5	2.2	3.8	0.0

(9) 子どものために持っているもの

保護者票問 14. あなたのご家庭では、お子さんのために次のものをお持ちですか。

(a~i それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

- a. 子どもの年齢と知識水準に適した児童書、本（教科書は除く）
- b. 参考書などの勉強教材
- c. たいていの子どもが持っている文房具（習字セット、コンパス、リコーダーなど）
- d. たいていの子どもが持っている屋外レジャー・スポーツ用品（自転車、ローラースケート、グローブ、サッカーボールなど）
- e. たいていの子どもが持っているおもちゃ
- f. コンピューターゲーム機
- g. こども部屋（きょうだいと一緒に使っている場合を含む）
- h. 子どもが使えるインターネットにつながったパソコン
- i. 子ども専用のスマートフォン・携帯電話

子どものために持っているものについて、「なし（経済的に難しい）」の割合は、「子どもの年齢と知識水準に適した児童書、本」が 5.1%、「参考書などの勉強教材」が 5.7%、「たいていの子どもが持っている文房具」が 0.2%、「たいていの子どもが持っている屋外レジャー・スポーツ用品」が 1.8%、「たいていの子どもが持っているおもちゃ」が 2.3%、「コンピューターゲーム機」が 2.2%、「こども部屋」が 4.0%、「子どもが使えるインターネットにつながったパソコン」が 8.1%、「子ども専用のスマートフォン・携帯電話」が 3.1%となっている。

「なし（経済的に難しい）」の割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では、「子どもの年齢と知識水準に適した児童書、本」が 24.9%、「参考書などの勉強教材」が 31.0%、「たいていの子どもが持っている文房具」が 0.9%、「たいていの子どもが持っている屋外レジャー・スポーツ用品」が 6.9%、「たいていの子どもが持っているおもちゃ」が 9.8%、「コンピューターゲーム機」が 7.4%、「こども部屋」が 10.7%、「子どもが使えるインターネットにつながったパソコン」が 29.0%、「子ども専用のスマートフォン・携帯電話」が 12.4%となっている。

「なし（経済的に難しい）」の割合について、世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「子どもの年齢と知識水準に適した児童書、本」が 21.2%、「参考書などの勉強教材」が 25.3%、「たいていの子どもが持っている文房具」が 1.0%、「たいていの子どもが持っている屋外レジャー・スポーツ用品」が 7.1%、「たいていの子どもが持っているおもちゃ」が 8.6%、「コンピューターゲーム機」が 8.7%、「こども部屋」が 12.7%、「子どもが使えるインターネットにつながったパソコン」が 29.1%、「子ども専用のスマートフォン・携帯電話」が 9.6%となっている。

図 2-1-4-25 子どものために持っているものについて

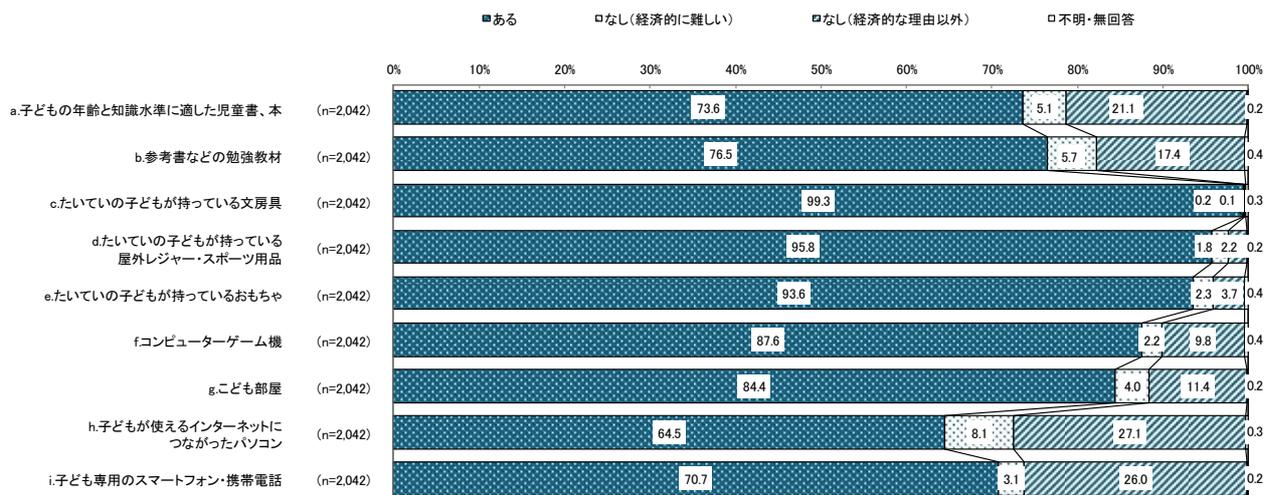


図 2-1-4-26 【等価世帯収入の水準別】子どものために持っているものについて

a. 子どもの年齢と知識水準に適した児童書、本

(件、%)

	全体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)	
全体	2,037	73.7	5.1	21.2	
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	217	53.0	24.9	22.1
	中央値未満	782	68.3	5.1	26.6
	中央値以上	1,038	82.2	1.0	16.9

b. 参考書などの勉強教材

(件、%)

	全体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)	
全体	2,034	76.8	5.7	17.5	
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	216	46.8	31.0	22.2
	中央値未満	783	72.4	4.7	22.9
	中央値以上	1,035	86.5	1.2	12.4

c. たいていの子どもが持っている文房具

(件、%)

	全体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)	
全体	2,035	99.6	0.2	0.1	
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	216	98.6	0.9	0.5
	中央値未満	783	99.5	0.4	0.1
	中央値以上	1,036	99.9	0.0	0.1

d. たいていの子どもが持っている屋外レジャー・スポーツ用品

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,038	96.0	1.8	2.2
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	217	88.9	6.9	4.1
	中央値未満	783	95.3	1.9	2.8
	中央値以上	1,038	98.1	0.6	1.3

e. たいていの子どもが持っているおもちゃ

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,033	94.0	2.3	3.7
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	214	83.6	9.8	6.5
	中央値未満	784	93.5	2.6	4.0
	中央値以上	1,035	96.6	0.5	2.9

f. コンピューターゲーム機

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,034	88.0	2.2	9.9
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	215	84.2	7.4	8.4
	中央値未満	782	88.9	2.7	8.4
	中央値以上	1,037	88.0	0.7	11.3

g. こども部屋

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,037	84.6	4.0	11.4
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	215	72.6	10.7	16.7
	中央値未満	784	82.8	5.7	11.5
	中央値以上	1,038	88.5	1.3	10.2

h. 子どもが使えるインターネットにつながったパソコン

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,036	64.7	8.2	27.2
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	214	46.3	29.0	24.8
	中央値未満	785	58.2	10.4	31.3
	中央値以上	1,037	73.4	2.1	24.5

i. 子ども専用のスマートフォン・携帯電話

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,037	70.8	3.1	26.0
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	217	65.0	12.4	22.6
	中央値未満	784	68.2	4.0	27.8
	中央値以上	1,036	74.0	0.6	25.4

図 2-1-4-27 【世帯状況別】子どものために持っているものについて

a. 子どもの年齢と知識水準に適した児童書、本

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,037	73.7	5.1	21.2
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,836	76.1	3.4	20.5
	【ひとり親世帯】	198	52.5	21.2	26.3
	母子世帯のみ	183	53.0	21.9	25.1

b. 参考書などの勉強教材

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,034	76.8	5.7	17.5
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,833	79.4	3.6	17.0
	【ひとり親世帯】	198	53.5	25.3	21.2
	母子世帯のみ	183	52.5	26.2	21.3

c. たいていの子どもが持っている文房具

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,035	99.6	0.2	0.1
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,834	99.7	0.2	0.2
	【ひとり親世帯】	198	99.0	1.0	0.0
	母子世帯のみ	183	99.5	0.5	0.0

d. たいていの子どもが持っている屋外レジャー・スポーツ用品

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,038	96.0	1.8	2.2
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,837	96.6	1.2	2.2
	【ひとり親世帯】	198	90.9	7.1	2.0
	母子世帯のみ	183	90.7	7.1	2.2

e. たいていの子どもが持っているおもちゃ

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,033	94.0	2.3	3.7
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,833	95.0	1.6	3.4
	【ひとり親世帯】	197	84.8	8.6	6.6
	母子世帯のみ	182	85.2	8.2	6.6

f. コンピューターゲーム機

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,034	88.0	2.2	9.9
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,835	88.3	1.5	10.2
	【ひとり親世帯】	196	84.7	8.7	6.6
	母子世帯のみ	181	84.5	8.3	7.2

g. こども部屋

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,037	84.6	4.0	11.4
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,837	85.5	3.0	11.4
	【ひとり親世帯】	197	76.6	12.7	10.7
	母子世帯のみ	182	76.9	12.6	10.4

h. 子どもが使えるインターネットにつながったパソコン

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,036	64.7	8.2	27.2
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,837	66.2	5.9	27.8
	【ひとり親世帯】	196	49.5	29.1	21.4
	母子世帯のみ	181	49.7	29.8	20.4

i. 子ども専用のスマートフォン・携帯電話

(件、%)

		全 体	ある	なし(経済的に難しい)	なし(経済的な理由以外)
全 体		2,037	70.8	3.1	26.0
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,836	70.2	2.5	27.3
	【ひとり親世帯】	198	76.8	9.6	13.6
	母子世帯のみ	183	77.0	9.3	13.7

(10) 子どものためにしていること

保護者票問15. あなたのご家庭では、お子さんのために次のことをしていますか。

(a~i それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

- a. 誕生日や記念日などでの祝い事
- b. 家族旅行
- c. 文化的な体験（図書館・美術館・博物館・音楽鑑賞・映画鑑賞・舞台芸術鑑賞などに行く）
- d. 野外体験（動物園・水族館・遊園地・ハイキング・釣り・昆虫採集などに行く）
- e. 家族での外食・買い物
- f. 学校の宿泊行事（修学旅行・山の学校・海の学校・登山などの宿泊研修）
- g. 学習塾・通信教育・家庭教師（英語教室など含む）
- h. 勉強以外の習い事（スポーツ、バレエ、習字、ピアノ、合唱団など）
- i. 学校の部活動 ※中学生の保護者のみお答えください

子どものためにしていることについて、「していない（経済的に難しい）」の割合は、「誕生日や記念日などでの祝い事」が0.3%、「家族旅行」が12.6%、「文化的な体験」が4.8%、「野外体験」が3.8%、「家族での外食・買い物」が1.9%、「学校の宿泊行事」が0.1%、「学習塾・通信教育・家庭教師」が7.8%、「勉強以外の習い事」が7.3%、「学校の部活動」が0.6%となっている。

「していない（経済的に難しい）」の割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「誕生日や記念日などでの祝い事」が1.9%、「家族旅行」が41.9%、「文化的な体験」が22.7%、「野外体験」が15.8%、「家族での外食・買い物」が7.0%、「学校の宿泊行事」が0.5%、「学習塾・通信教育・家庭教師」が32.9%、「勉強以外の習い事」が23.6%、「学校の部活動」が5.7%となっている。

「していない（経済的に難しい）」の割合について、世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「誕生日や記念日などでの祝い事」が2.0%、「家族旅行」が36.2%、「文化的な体験」が19.3%、「野外体験」が14.8%、「家族での外食・買い物」が7.1%、「学校の宿泊行事」が1.0%、「学習塾・通信教育・家庭教師」が29.9%、「勉強以外の習い事」が21.3%、「学校の部活動」が4.5%となっている。

図 2-1-4-28 子どものためにしていることについて

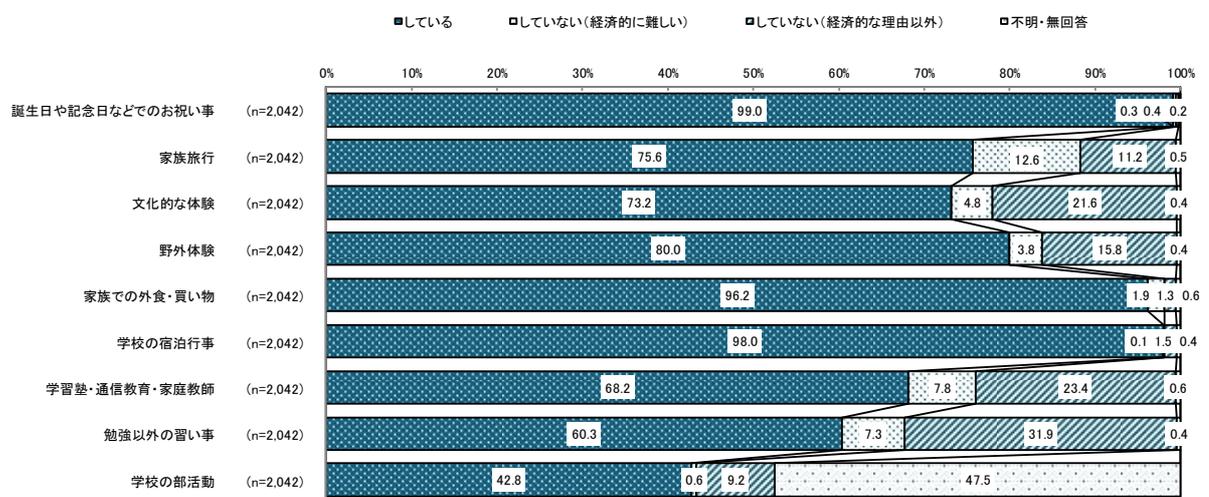


図 2-1-4-29 【等価世帯収入の水準別】子どものためにしていることについて

a. 誕生日や記念日などのお祝い事

(件, %)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,037	99.2	0.3	0.4
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	216	97.7	1.9	0.5
	中央値未満	786	99.1	0.4	0.5
	中央値以上	1,035	99.6	0.0	0.4

b. 家族旅行

(件, %)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,031	76.0	12.7	11.3
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	215	49.8	41.9	8.4
	中央値未満	782	67.4	17.6	15.0
	中央値以上	1,034	88.0	2.9	9.1

c. 文化的な体験

(件, %)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,034	73.5	4.8	21.7
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	216	51.9	22.7	25.5
	中央値未満	783	68.7	5.1	26.2
	中央値以上	1,035	81.6	0.8	17.6

d. 野外体験

(件, %)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,034	80.3	3.8	15.9
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	215	62.8	15.8	21.4
	中央値未満	784	78.4	4.8	16.7
	中央値以上	1,035	85.4	0.5	14.1

e. 家族での外食・買い物

(件, %)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,029	96.8	1.9	1.3
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	215	92.6	7.0	0.5
	中央値未満	783	95.7	2.7	1.7
	中央値以上	1,031	98.5	0.2	1.3

f. 学校の宿泊行事

(件、%)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,033	98.4	0.1	1.5
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	215	95.8	0.5	3.7
	中央値未満	784	98.2	0.1	1.7
	中央値以上	1,034	99.1	0.0	0.9

g. 学習塾・通信教育・家庭教師

(件、%)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,030	68.6	7.9	23.5
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	213	41.8	32.9	25.4
	中央値未満	784	62.9	9.9	27.2
	中央値以上	1,033	78.5	1.2	20.3

h. 勉強以外の習い事

(件、%)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,033	60.6	7.4	32.0
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	216	45.4	23.6	31.0
	中央値未満	783	56.1	10.3	33.6
	中央値以上	1,034	67.2	1.7	31.0

i. 学校の部活動

(件、%)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		1,072	81.4	1.1	17.4
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	123	72.4	5.7	22.0
	中央値未満	396	79.5	0.8	19.7
	中央値以上	553	84.8	0.4	14.8

図 2-1-4-30 【世帯状況別】子どものためにしていることについて

a. 誕生日や記念日などのお祝い事

(件、%)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,037	99.2	0.3	0.4
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,837	99.5	0.2	0.4
	【ひとり親世帯】	197	97.5	2.0	0.5
	母子世帯のみ	182	97.8	1.6	0.5

b. 家族旅行

(件、%)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,031	76.0	12.7	11.3
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,832	78.7	10.2	11.1
	【ひとり親世帯】	196	51.5	36.2	12.2
	母子世帯のみ	181	52.5	36.5	11.0

c. 文化的な体験

(件、%)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,034	73.5	4.8	21.7
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,834	75.6	3.2	21.2
	【ひとり親世帯】	197	53.8	19.3	26.9
	母子世帯のみ	182	54.9	19.2	25.8

d. 野外体験

(件、%)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,034	80.3	3.8	15.9
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,835	82.0	2.6	15.4
	【ひとり親世帯】	196	64.8	14.8	20.4
	母子世帯のみ	181	64.6	14.4	21.0

e. 家族での夕食・買い物

(件、%)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,029	96.8	1.9	1.3
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,830	97.4	1.3	1.3
	【ひとり親世帯】	196	91.3	7.1	1.5
	母子世帯のみ	181	91.7	6.6	1.7

f. 学校の宿泊行事

(件、%)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,033	98.4	0.1	1.5
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,835	98.7	0.0	1.3
	【ひとり親世帯】	195	95.9	1.0	3.1
	母子世帯のみ	180	96.1	0.6	3.3

g. 学習塾・通信教育・家庭教師

(件、%)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,030	68.6	7.9	23.5
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,833	70.8	5.6	23.6
	【ひとり親世帯】	194	48.5	29.9	21.6
	母子世帯のみ	179	48.6	30.2	21.2

h. 勉強以外の習い事

(件、%)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		2,033	60.6	7.4	32.0
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,833	62.0	5.9	32.1
	【ひとり親世帯】	197	48.2	21.3	30.5
	母子世帯のみ	182	48.4	22.5	29.1

i. 学校の部活動

(件、%)

		全 体	している	していない (経済的に 難しい)	していない (経済的な 理由以外)
全 体		1,072	81.4	1.1	17.4
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	960	82.6	0.7	16.7
	【ひとり親世帯】	110	71.8	4.5	23.6
	母子世帯のみ	101	73.3	4.0	22.8

2.1.5.学校との関わり・参加

(1) 学校行事への参加

保護者票問 1 2. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

(a,bそれぞれ、あてはまるもの1つに○)

a. 授業参観や運動会などの学校行事への参加

授業参観や運動会などの学校行事について、「よく参加している」の割合は 81.6%、「ときどき参加している」の割合は 14.4%となっている。「あまり参加していない」の割合は 2.4%、「まったく参加していない」の割合は 1.3%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「よく参加している」の割合は、「中央値以上」の世帯では 84.6%、「中央値未満」の世帯では 81.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 69.6%となっている。

世帯状況別にみると、「よく参加している」の割合は、「ふたり親世帯」では 83.1%、「ひとり親世帯」では 69.7%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 69.9%となっている。

図 2-1-5-1 学校行事への参加

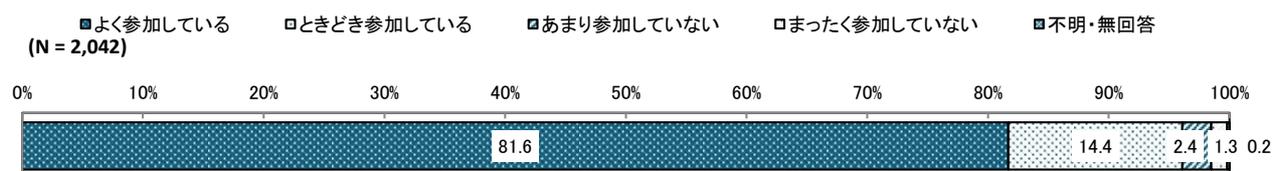


図 2-1-5-2 【等価世帯収入の水準別】学校行事への参加

(件、%)

		全 体	よく参加して いる	ときどき参加 している	あまり参加 していない	まったく参加 していない
全 体		2,038	81.7	14.5	2.5	1.3
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	217	69.6	22.1	5.1	3.2
	中央値未満	783	81.4	15.3	2.2	1.1
	中央値以上	1,038	84.6	12.2	2.1	1.1

図 2-1-5-3 【世帯状況別】学校行事への参加

(件、%)

		全 体	よく参加して いる	ときどき参加 している	あまり参加 していない	まったく参加 していない
全 体		2,038	81.7	14.5	2.5	1.3
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,837	83.1	13.5	2.2	1.3
	【ひとり親世帯】	198	69.7	23.2	5.1	2.0
	母子世帯のみ	183	69.9	23.5	4.4	2.2

(2) PTA 活動等への参加

保護者票問 1 2. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

(a,bそれぞれ、あてはまるもの1つに○)

b. PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどについて、「よく参加している」の割合は 37.2%、「ときどき参加している」の割合は 37.7%となっている。「あまり参加していない」の割合は 19.2%、「まったく参加していない」の割合は 5.5%となっている。

「よく参加している」の割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 36.5%、「中央値未満」の世帯では 40.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 30.6%となっている。

世帯状況別にみると、「よく参加している」の割合は、「ふたり親世帯」では 38.4%、「ひとり親世帯」では 27.4%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 26.9%となっている。

図 2-1-5-4 PTA 活動等への参加

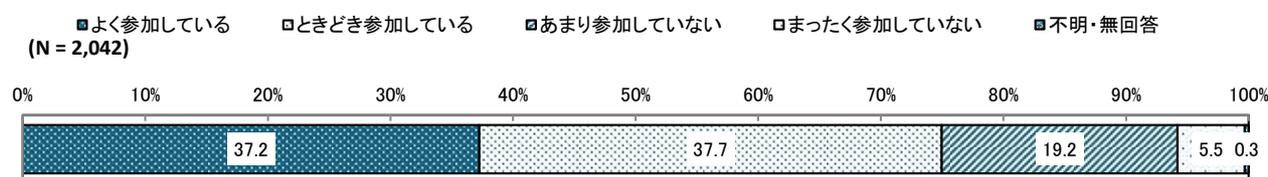


図 2-1-5-5 【等価世帯収入の水準別】PTA 活動等への参加

(件、%)

		全 体	よく参加して いる	ときどき参加 している	あまり参加 していない	まったく参加 していない
全 体		2,035	37.3	37.8	19.3	5.6
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	216	30.6	36.6	22.2	10.6
	中央値未満	782	40.3	35.3	20.2	4.2
	中央値以上	1,037	36.5	39.9	18.0	5.5

図 2-1-5-6 【世帯状況別】PTA 活動等への参加

(件、%)

		全 体	よく参加して いる	ときどき参加 している	あまり参加 していない	まったく参加 していない
全 体		2,035	37.3	37.8	19.3	5.6
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,835	38.4	38.0	18.8	4.7
	【ひとり親世帯】	197	27.4	35.5	23.9	13.2
	母子世帯のみ	182	26.9	37.4	23.1	12.6

2.1.6.進学期待・展望

(1) 子どもの進学段階に関する希望・展望

保護者票問 16. お子さんは将来、どの学校に進学すると思いますか。

(あてはまるものひとつに○)

子どもが将来どの段階まで進学すると思うかについて、進学先別の割合は、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が51.1%、「中学、高校」と「中学、高校、専門学校」がそれぞれ11.0%、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」が5.3%、「中学、高校、短大」が3.0%、「中学」が0.5%、「中学、5年制の高等専門学校」が0.2%、「その他」が0.5%、「まだわからない」が16.7%となっている。全体の56.4%が大学またはそれ以上、14.2%が短大・高専・専門学校まで、11.0%が高校まで、0.5%が中学までの進学と回答している。

「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」の割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では64.2%、「中央値未満」の世帯では41.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では25.2%となっている。「中央値の2分の1未満」の世帯では、「中学、高校まで」の割合が24.8%となっている。

世帯状況別にみると、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」の割合は、「ふたり親世帯」では53.4%、「ひとり親世帯」では32.7%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では32.6%となっている。「ひとり親世帯」では、「中学、高校まで」の割合が20.4%となっている。

図 2-1-6-1 子どもの進学段階に関する希望・展望

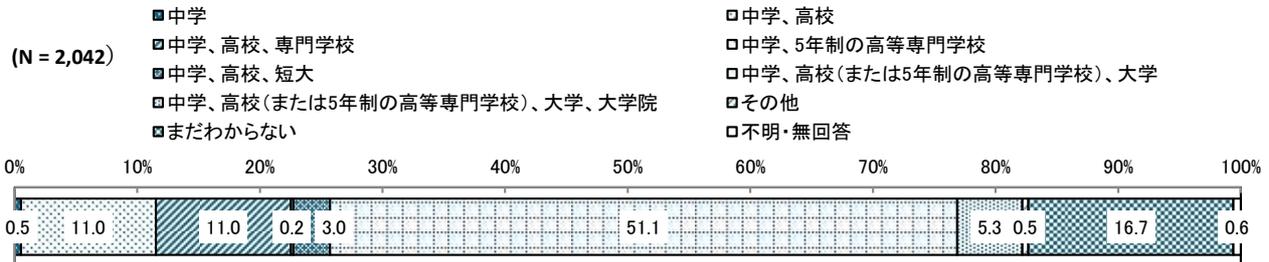


図 2-1-6-2 【等価世帯収入の水準別】子どもの進学段階に関する希望・展望

(件、%)

等価世帯収入	全体	進学先								
		中学	中学、高校	中学、高校、専門学校	中学、5年制の高等専門学校	中学、高校、短大	中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学	中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院	その他	还不知道
全体	2,030	0.5	11.1	11.1	0.2	3.1	51.4	5.4	0.5	16.7
中央値の2分の1未満	214	2.3	24.8	14.5	0.5	4.2	25.2	0.9	0.9	26.6
中央値未満	781	0.5	14.9	15.4	0.3	2.9	41.6	3.3	0.6	20.5
中央値以上	1,035	0.1	5.4	7.1	0.2	2.9	64.2	7.8	0.4	11.9

図 2-1-6-3 【世帯状況別】子どもの進学段階に関する希望・展望

(件、%)

		全 体	中学	中学、高校	中学、高校、専門学校	中学、5年制の高等専門学校	中学、高校、短大	中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学	中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	その他	まだわからない
全 体		2,030	0.5	11.1	11.1	0.2	3.1	51.4	5.4	0.5	16.7
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,831	0.4	10.1	11.1	0.2	2.9	53.4	5.6	0.4	16.0
	【ひとり親世帯】	196	1.5	20.4	11.2	1.0	4.1	32.7	3.6	2.0	23.5
	母子世帯のみ	181	1.7	20.4	10.5	1.1	3.9	32.6	3.9	2.2	23.8

(2) 進学段階に関する希望・展望についてそう考える理由

【問16で1～8と回答した方に】

保護者票問17. 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

(1～5については、あてはまるものすべてに○)

子どもの進学段階に関する希望・展望について保護者がそう考える理由としては、「お子さんがそう希望しているから」の割合が46.2%、「一般的な進路だと思うから」の割合が42.2%、「お子さんの学力から考えて」の割合が28.8%となっている。

「家庭の経済的な状況から考えて」の割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では6.7%、「中央値未満」の世帯では7.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では16.1%となっている。

世帯状況別にみると、「家庭の経済的な状況から考えて」の割合は、「ふたり親世帯」では7.5%、「ひとり親世帯」では12.5%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では12.8%となっている。

図 2-1-6-4 子どもの進学段階に関する希望・展望の回答別、そう考える理由

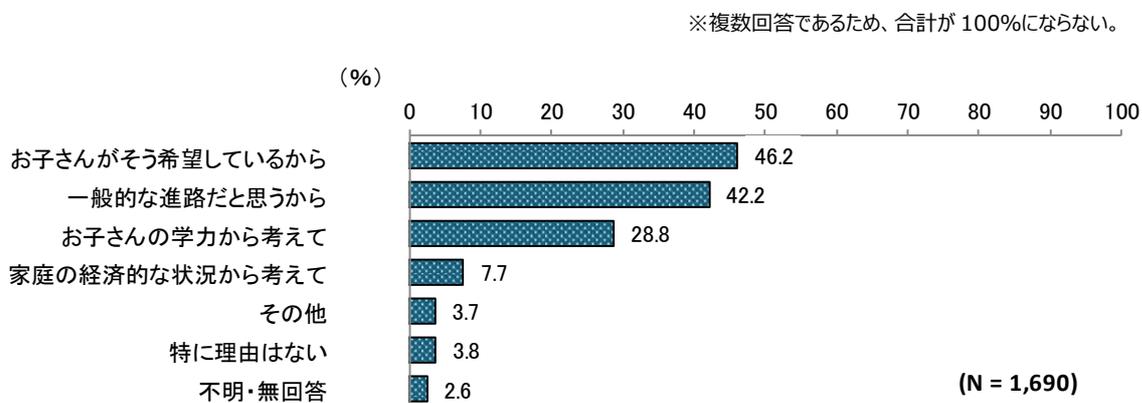


図 2-1-6-5 【等価世帯収入の水準別】進学段階に関する希望・展望について

※複数回答であるため、合計が100%にならない。(件、%)

	全体	お子さんが そう希望し ているから	一般的な進 路だと思う から	お子さんの 学力から考 えて	家庭の経済 的な状況か ら考えて	その他	特に理由は ない	
全体	1,646	47.4	43.4	29.6	7.9	3.8	3.9	
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	149	35.6	38.3	26.8	16.1	2.7	6.0
	中央値未満	605	43.5	42.1	27.4	7.6	5.3	4.1
	中央値以上	892	52.0	45.1	31.5	6.7	3.0	3.5

図 2-1-6-6 【世帯状況別】進学段階に関する希望・展望について

※複数回答であるため、合計が100%にならない。(件、%)

	全体	お子さんが そう希望し ているから	一般的な進 路だと思う から	お子さんの 学力から考 えて	家庭の経済 的な状況か ら考えて	その他	特に理由は ない	
全体	1,646	47.4	43.4	29.6	7.9	3.8	3.9	
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,500	47.9	43.4	30.3	7.5	3.7	4.1
	【ひとり親世帯】	144	41.7	43.8	22.9	12.5	5.6	1.4
	母子世帯のみ	133	42.9	41.4	23.3	12.8	5.3	1.5

2.1.7.頼れる人の有無・相手

(1) 子育てに関する相談

保護者票問 2 2. あなたは次の a～c について頼れる人はいますか。

(a～cそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑧のあてはまるものすべてに○)

a. 子育てに関する相談

子育てに関する相談について、「頼れる人がいる」の割合は 92.1%、「いない」の割合は 4.1%、「そのことでは人に頼らない」の割合は 3.6%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」の割合が 90.5%、「友人・知人」の割合が 67.5%、「職場の人」の割合が 29.1%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では 2.8%、「中央値未満」の世帯では 5.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 7.0%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では、他の水準の世帯と比べて、「友人・知人」、「職場の人」の割合が低く、「相談・支援機関や福祉の人」の割合が高くなっている。

世帯状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では 3.5%、「ひとり親世帯」では 8.7%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 8.8%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「ひとり親世帯」では「家族・親族」、「近所の人」の割合が「ふたり親世帯」と比べて低く、「相談・支援機関や福祉の人」の割合が高くなっている。

図 2-1-7-1 子育てに関する相談相手の有無

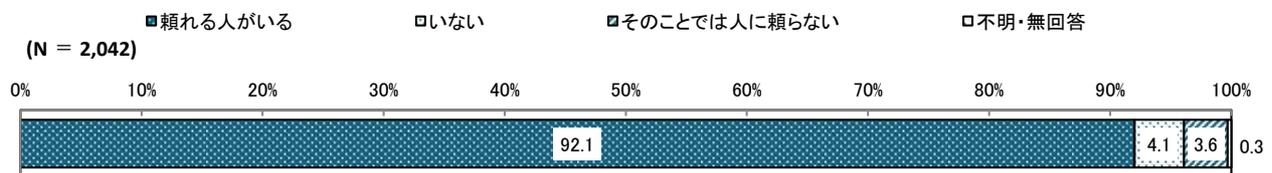


図 2-1-7-2 子育てに関する相談相手

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

全体	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	学校の教職員	その他	不明・無回答
1,880	90.5	67.5	13.0	29.1	0.7	5.9	20.5	3.0	1.4

図 2-1-7-3 【等価世帯収入の水準別】子育てに関する相談相手の有無

(件、%)

		全 体	頼れる人が いる	いない	そのことで は人に頼ら ない
全 体		2,036	92.3	4.1	3.6
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	215	88.4	7.0	4.7
	中央値未満	784	92.6	5.0	2.4
	中央値以上	1,037	93.0	2.8	4.2

図 2-1-7-4 【等価世帯収入の水準別】子育てに関する相談相手

※複数回答であるため、合計が100%にならない。(件、%)

		全 体	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・ 児童委員	相談・支援 機関や福祉 の人	学校の教職 員	その他
全 体		1,854	91.8	68.4	13.2	29.6	0.8	6.0	20.8	3.0
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	188	87.8	61.2	8.0	22.3	0.5	12.8	19.7	1.1
	中央値未満	713	90.9	68.3	15.3	30.4	0.6	7.0	21.9	2.5
	中央値以上	953	93.3	70.0	12.6	30.3	0.9	3.9	20.1	3.8

図 2-1-7-5 【世帯状況別】子育てに関する相談相手の有無

(件、%)

		全 体	頼れる人が いる	いない	そのことで は人に頼ら ない
全 体		2,036	92.3	4.1	3.6
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,837	92.7	3.5	3.8
	【ひとり親世帯】	196	89.3	8.7	2.0
	母子世帯のみ	181	90.1	8.8	1.1

図 2-1-7-6 【世帯状況別】子育てに関する相談相手

※複数回答であるため、合計が100%にならない。(件、%)

		全 体	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・ 児童委員	相談・支援 機関や福祉 の人	学校の教職 員	その他
全 体		1,854	91.8	68.4	13.2	29.6	0.8	6.0	20.8	3.0
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,683	93.0	68.9	13.7	29.1	0.8	5.3	20.7	3.0
	【ひとり親世帯】	169	79.9	63.9	8.3	34.3	0.6	13.0	21.3	3.6
	母子世帯のみ	158	80.4	66.5	8.2	35.4	0.6	12.7	20.3	3.8

(2) 重要な事柄の相談

保護者票問 2. あなたは次の a～c について頼れる人はいますか。

(a～cそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑧のあてはまるものすべてに○)

b. 重要な事柄の相談

重要な事柄の相談について、「頼れる人がいる」の割合は 90.4%、「いない」の割合は 5.1%、「そのことでは人に頼らない」の割合は 3.6%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」の割合が 94.9%、「友人・知人」の割合が 32.1%、「職場の人」の割合が 8.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では 3.7%、「中央値未満」の世帯では 5.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 9.9%となっている。また、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯で、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、他の水準の世帯と比べて、「家族・親族」の割合がやや低く、「相談・支援機関や福祉の人」の割合がやや高くなっている。

世帯状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では 4.3%、「ひとり親世帯」では 12.9%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 12.3%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「ふたり親世帯」と比べて、「ひとり親世帯」では「家族・親族」の割合がやや低く、「相談・支援機関や福祉の人」の割合がやや高くなっている。

図 2-1-7-7 重要な事柄の相談相手の有無

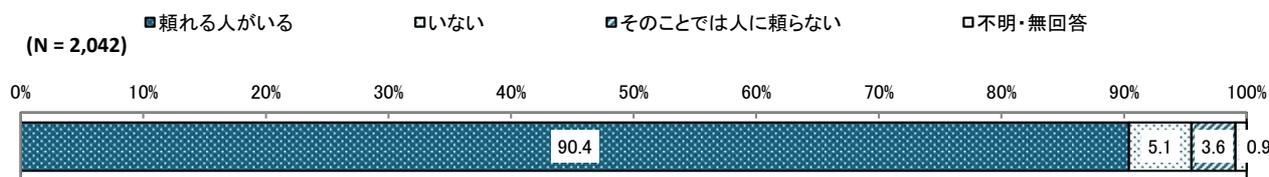


図 2-1-7-8 重要な事柄の相談相手

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

全体	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	学校の教職員	その他	不明・無回答
1,846	94.9	32.1	1.6	8.0	0.1	1.7	4.1	1.3	1.5

図 2-1-7-9 【等価世帯収入の水準別】重要な事柄の相談相手の有無

(件、%)

		全体	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない
全体		2,024	91.2	5.1	3.7
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	213	85.0	9.9	5.2
	中央値未満	778	91.5	5.8	2.7
	中央値以上	1,033	92.3	3.7	4.1

図 2-1-7-10 【等価世帯収入の水準別】重要な事柄の相談相手

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

		全 体	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・ 児童委員	相談・支援 機関や福祉 の人	学校の教職 員	その他
全 体		1,818	96.3	32.6	1.7	8.1	0.1	1.8	4.1	1.3
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	180	93.3	32.8	1.1	7.2	0.6	5.6	6.1	1.1
	中央値未満	699	95.7	30.9	1.9	6.6	0.1	1.9	5.0	0.7
	中央値以上	939	97.3	33.9	1.6	9.4	0.0	1.0	3.1	1.8

図 2-1-7-11 【世帯状況別】重要な事柄の相談相手の有無

(件、%)

		全 体	頼れる人が いる	いない	そのことで は人に頼ら ない
全 体		2,024	91.2	5.1	3.7
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,827	92.1	4.3	3.6
	【ひとり親世帯】	194	83.0	12.9	4.1
	母子世帯のみ	179	83.8	12.3	3.9

図 2-1-7-12 【世帯状況別】重要な事柄の相談相手

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

		全 体	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・ 児童委員	相談・支援 機関や福祉 の人	学校の教職 員	その他
全 体		1,818	96.3	32.6	1.7	8.1	0.1	1.8	4.1	1.3
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,659	97.1	32.4	1.7	7.9	0.1	1.4	3.8	1.2
	【ひとり親世帯】	157	87.9	35.0	0.6	10.2	0.6	5.7	7.6	2.5
	母子世帯のみ	147	88.4	36.7	0.7	9.5	0.7	5.4	8.2	2.7

(3) いざという時のお金の援助

保護者票問 2 2. あなたは次の a～c について頼れる人はいますか。
 (a～cそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑧のあてはまるものすべてに○)
 c. いざという時のお金の援助

いざという時のお金の援助について、「頼れる人がいる」の割合は 68.4%、「いない」の割合は 11.9%、「そのことでは人に頼らない」の割合は 18.5%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」の割合が 97.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では 7.2%、「中央値未満」の世帯では 13.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 29.9%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では、他の水準の世帯と比べて、「家族・親族」の割合がやや低く、「友人・知人」の割合がやや高くなっている。

世帯状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では 10.1%、「ひとり親世帯」では 30.5%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 30.9%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「ふたり親世帯」と比べて、「ひとり親世帯」では、「家族・親族」の割合がやや低く、「友人・知人」の割合が「やや高くなっている。

図 2-1-7-13 いざという時のお金の援助に関して頼れる人の有無

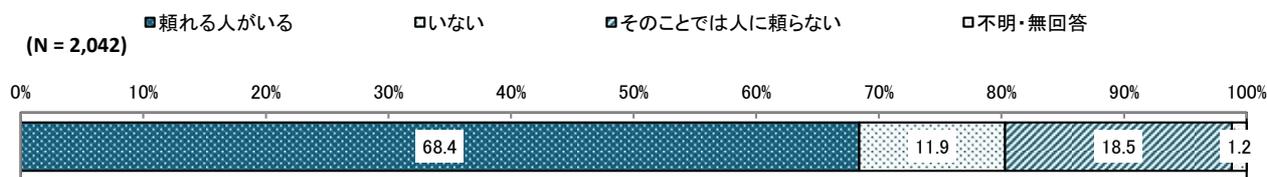


図 2-1-7-14 いざという時のお金の援助に関して頼れる相手

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

全体	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	学校の教職員	その他	不明・無回答
1,396	97.7	1.7	0.1	0.4	0.1	1.4	0.1	0.9	1.4

図 2-1-7-15 【等価世帯収入の水準別】いざという時のお金の援助に関して頼れる人の有無

(件、%)

		全体	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない
全体		2,018	69.2	12.1	18.7
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	211	58.8	29.9	11.4
	中央値未満	777	70.9	13.8	15.3
	中央値以上	1,030	70.0	7.2	22.8

図 2-1-7-16 【等価世帯収入の水準別】いざという時のお金の援助に関して頼れる相手

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

		全 体	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	学校の教職員	その他
全 体		1,377	99.1	1.7	0.1	0.4	0.1	1.4	0.1	0.9
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	123	95.9	4.9	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.8
	中央値未満	542	98.7	1.5	0.2	0.4	0.2	1.1	0.2	0.9
	中央値以上	712	99.9	1.4	0.0	0.6	0.0	1.4	0.0	0.8

図 2-1-7-17 【世帯状況別】いざという時のお金の援助に関して頼れる人の有無

(件、%)

		全 体	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない
全 体		2,018	69.2	12.1	18.7
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,825	71.0	10.1	18.9
	【ひとり親世帯】	190	52.1	30.5	17.4
	母子世帯のみ	175	52.6	30.9	16.6

図 2-1-7-18 【世帯状況別】いざという時のお金の援助に関して頼れる相手

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

		全 体	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	学校の教職員	その他
全 体		1,377	99.1	1.7	0.1	0.4	0.1	1.4	0.1	0.9
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,279	99.4	1.4	0.1	0.4	0.1	1.3	0.1	0.9
	【ひとり親世帯】	96	94.8	6.3	0.0	1.0	0.0	3.1	0.0	0.0
	母子世帯のみ	90	95.6	5.6	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0

2.1.8.保護者の心理的な状態

(1) 保護者の心理的な状態

保護者票問 2 7. 次の a)～f)の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。

(a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

- a. 神経過敏に感じた
- b. 絶望的だと感じた
- c. そわそわ、落ち着かなく感じた
- d. 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた
- e. 何をすることも面倒だと感じた
- f. 自分は価値のない人間だと感じた

「保護者の心理的な状態」に関して、調査では「K6」と呼ばれる指標を把握するための 6 つの項目を設定した⁶。この 6 つの調査項目の結果を足し合わせて、K6 のスコアを算出した (0～24 点)。「うつ・不安障害相当」とされている「13 点以上」の割合は 9.6%であった。

等価世帯収入の水準別にみると、K6 のスコアが「13 点以上」の割合は、「中央値以上」の世帯では 5.0%、「中央値未満」の世帯では 12.2%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 22.8%となっている。

世帯状況別にみると、K6 のスコアが「13 点以上」の割合は、「ふたり親世帯」では 8.7%、「ひとり親世帯」では 18.7%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 17.5%となっている。

図 2-1-8-1 保護者の心理的な状態 (K6 のスコア)

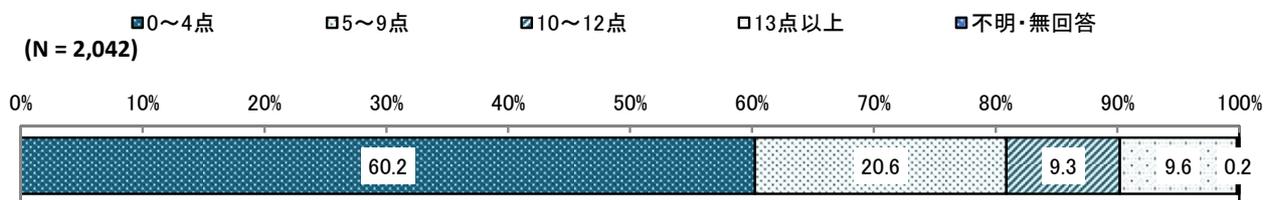


図 2-1-8-2 【等価世帯収入の水準別】保護者の心理的な状態 (K6 のスコア)

(件、%)

		全体	0～4点	5～9点	10～12点	13点以上
全体		2037	60.3	20.7	9.3	9.7
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	215	39.5	24.2	13.5	22.8
	中央値未満	784	54.6	20.7	12.5	12.2
	中央値以上	1038	69.0	19.9	6.1	5.0

⁶ K6 は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として利用されている。採点方法は、ひとつの質問ごとに 0 点 (5.まったくない) から 4 点 (1.いつも) を振り、0 点から 24 点で合計を計算した。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示している。合計値 13 点以上では重症精神障害の診断に該当する可能性が高いとされ、7～12 点では、軽度精神障害の可能性ありとされている。

図 2-1-8-3 【世帯状況別】保護者の心理的な状態（K6 のスコア）

(件、%)

		全 体	0～4点	5～9点	10～12点	13点以上
全 体		2037	60.3	20.7	9.3	9.7
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1836	62.5	20.3	8.4	8.7
	【ひとり親世帯】	198	40.4	23.7	17.2	18.7
	母子世帯のみ	183	41.5	23.5	17.5	17.5

(2) 生活満足度

保護者票問29. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

最近の生活の満足度については、「0～2点」に該当する割合が6.1%、「3～4点」に該当する割合が15.3%、「5点」に該当する割合が14.6%、「6～7点」に該当する割合が24.9%、「8～10点」に該当する割合が38.0%となっている。満足度が高い方の回答（6～10点）割合は62.9%となっている。

「6～10点」に該当する割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では78.9%、「中央値未満」の世帯では51.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では33.0%となっている。

「6～10点」に該当する割合について、世帯状況別にみると、「ふたり親世帯」では66.3%、「ひとり親世帯」では39.2%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では39.1%となっている。

図 2-1-8-4 生活満足度について

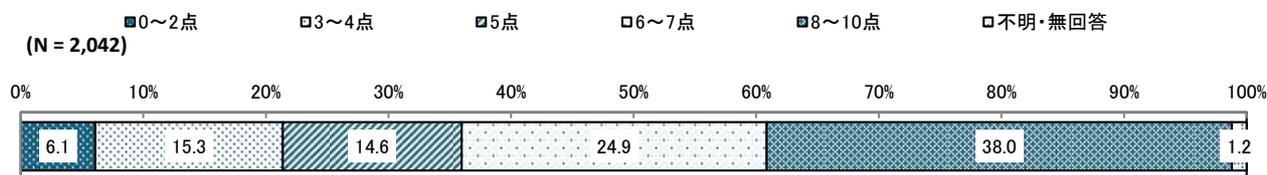


図 2-1-8-5 【等価世帯収入の水準別】生活満足度について

(件、%)

		全体	0～2点	3～4点	5点	6～7点	8～10点
全体		2,018	6.2	15.5	14.8	25.2	38.4
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	212	20.3	27.4	19.3	19.8	13.2
	中央値未満	777	8.2	21.5	18.7	25.5	26.1
	中央値以上	1,029	1.7	8.5	10.9	26.0	52.9

図 2-1-8-6 【世帯状況別】生活満足度について

(件、%)

		全体	0～2点	3～4点	5点	6～7点	8～10点
全体		2,018	6.2	15.5	14.8	25.2	38.4
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,821	5.1	14.6	14.1	25.7	40.6
	【ひとり親世帯】	194	16.5	23.2	21.1	20.6	18.6
	母子世帯のみ	179	16.8	22.9	21.2	20.1	19.0

2.1.9.子どもや自分の毎日の生活のことで感じていることや悩み

保護者票問30. お子さんやあなたの毎日の生活のことで感じていることや悩んでいることなど、自由にお書きください。

子どものことや毎日の生活のことについて、自由回答形式で聞いたところ、「特になし」などを除いた 355 件の回答があった。それらについて内容から以下の 14 項目について分類したところ⁷、「金銭面」に関するものが 314 件（88.5%）と最も多く、次いで「子育て（勉強以外）」が154件（43.4%）、「子の勉強」が143件（40.3%）となっている。

項目名	件数(件)	割合(%)
生活のこと	114	32.1
親の仕事	83	23.4
健康面(親)	27	7.6
健康面(子)	46	13.0
子の勉強	143	40.3
子育て(勉強以外)	154	43.4
家族に関すること	41	11.5
自分の気持ちに関すること	18	5.1
金銭面	314	88.5
自治体への要望	133	37.5
将来の不安	81	22.8
教育機関	68	19.2
県・市に対して感じること	35	9.9
その他	35	9.9
回答数	355	-

⁷ 複数の項目を含んでいる意見は該当する項目の各項目に 1 件ずつカウントし、複数回答として集計を行っている。